

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅰ・A	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		5	1	普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>数学Ⅰの分野においては、数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学Aの分野においては、図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深める。さらに、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:数研出版 「高等学校 数学Ⅰ」「高等学校 数学A」 副教材:数研出版 「改訂版 4 プロセス 数学Ⅰ+A」 「新課程 練習ドリル 数学Ⅰ 標準編」 「新課程 練習ドリル 数学A 標準編」 リクルート「スタディサプリ」</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>数と式、図形と計量、2次関数、データの分析、図形の性質及び場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p>	<p>数学Ⅰでは、命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>数学Aでは、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	数学 I 第1章 数と式 第2章 集合と命題 第3章 2次関数 第4章 図形と計量	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・授業中の観察	・課題考査 ・課題提出状況 ・パフォーマンス課題 ・授業中の観察
	評価点	100	100	100
2	第4章 図形と計量 第5章 データの分析 数学 A 第1章 場合の数と確率 第2章 図形の性質	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・授業中の観察	・課題考査 ・課題提出状況 ・パフォーマンス課題 ・授業中の観察
	評価点	100	100	100
3	第2章 図形の性質 第3章 数学と人間の活動	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・授業中の観察	・課題考査 ・課題提出状況 ・パフォーマンス課題 ・授業中の観察
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1		数学 I 第1章 数と式 第1節 式の計算 パフォーマンス課題1 x, yの2次式の因数分解 第2節 実数 第3節 1次不等式	17
		第2章 集合と命題 パフォーマンス課題2 必要条件, 十分条件 パフォーマンス課題3 鳩の巣原理 1学期中間考査	8
		第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変化 第3節 2次方程式と2次不等式 パフォーマンス課題4 2次関数のグラフとx軸の交点の条件	27
		第4章 図形と計量 第1節 三角比 1学期期末考査	8

2	第4章 図形と計量	13
	第2節 三角形への応用 パフォーマンス課題5 正弦定理・余弦定理	
	第5章 データの分析 パフォーマンス課題6 回帰分析	10
	数学 A	
2	第1章 場合の数と確率	
	第1節 場合の数 パフォーマンス課題7 完全順列	16
		2学期中間考査
	第2節 確率 パフォーマンス課題8 直感と確率	23
3	第2章 図形の性質	
	第1節 平面図形 パフォーマンス課題9 頂点から向かい合う辺に下した垂線	22
	第2節 空間図形 パフォーマンス課題10 算額	
	第3章 数学と人間の活動	23
		学年末考査

5 その他

パフォーマンス課題については、単元テストやタブレット端末を用いた調べ学習など、様々な形態で実施します。
試験範囲については、授業の進度により前後する場合があります。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学 I・A	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		5	1	体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	数学 I の分野においては、数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学Aの分野においては、図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深める。さらに、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書副教材等	教科書:数研出版 「新編 数学 I」「新編 数学 A」 副教材:数研出版 「新課程 書き込み式シリーズ【標準】教科書傍用 Study-Up ノート 数学 I +A」 「新課程 練習ドリル 数学 I 基本から標準編」 「新課程 練習ドリル 数学 A 基本から標準編」 リクルート「スタディサプリ」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	数と式、図形と計量、2次関数、データの分析、図形の性質及び場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学 I では、命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 数学Aでは、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	数学 I 第1章 数と式 第2章 集合と命題 第3章 2次関数 第4章 図形と計量	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・授業中の観察	・課題考査 ・課題提出状況 ・パフォーマンス課題 ・授業中の観察
	評価点	100	100	100
2	第4章 図形と計量 第5章 データの分析 数学 A 第1章 場合の数と確率 第2章 図形の性質	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・授業中の観察	・課題考査 ・課題提出状況 ・パフォーマンス課題 ・授業中の観察
	評価点	100	100	100
3	第2章 図形の性質 第3章 数学と人間の活動	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・授業中の観察	・課題考査 ・課題提出状況 ・パフォーマンス課題 ・授業中の観察
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1		数学 I 第1章 数と式 第1節 式の計算 パフォーマンス課題1 x, yの2次式の因数分解 第2節 実数 第3節 1次不等式 第2章 集合と命題 パフォーマンス課題2 必要条件, 十分条件 パフォーマンス課題3 鳩の巣原理 <div style="text-align: right;">1学期中間考査</div>	17
		第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変化 第3節 2次方程式と2次不等式 パフォーマンス課題4 2次関数のグラフとx軸の交点の条件	27
		第4章 図形と計量 第1節 三角比 <div style="text-align: right;">1学期期末考査</div>	8
			8

2	第4章 図形と計量	13
	第2節 三角形への応用 パフォーマンス課題5 正弦定理・余弦定理	
	第5章 データの分析 パフォーマンス課題6 回帰分析	10
	数学 A	
2	第1章 場合の数と確率	
	第1節 場合の数 パフォーマンス課題7 完全順列	16
		2学期中間考査
	第2節 確率 パフォーマンス課題8 直感と確率	23
3	第2章 図形の性質	
	第1節 平面図形 パフォーマンス課題9 頂点から向かい合う辺に下した垂線	22
	第2節 空間図形 パフォーマンス課題10 算額	
	第3章 数学と人間の活動	23
		学年末考査

5 その他

パフォーマンス課題については、単元テストやタブレット端末を用いた調べ学習など、様々な形態で実施します。
試験範囲については、授業の進度により前後する場合があります。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅱ+B+C	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		6	2	理型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、三角関数、微分法と積分法、数列、平面上のベクトル及び空間のベクトルの考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版「高等学校 数学Ⅱ」「高等学校 数学 B」「高等学校 数学 C」 副教材:数研出版「4プロセス数学Ⅱ+B」「4プロセス数学 C」「チャート式解法と演習数学Ⅱ+B」 「チャート式解法と演習数学 C」「練習ドリル数学Ⅱ」「練習ドリル数学 B」 「練習ドリル数学 C」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、三角関数、微分法と積分法、数列、平面上のベクトル及び空間のベクトルについての基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に解釈・表現・処理する技能が身についている。	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、三角関数、微分法と積分法、数列、平面上のベクトル及び空間のベクトルの構成要素と他の単元との関連に着目し、ひとつの問題に対して多面的・多角的な見方を通して、数理的に考察する力が身についている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式 第5章 指数関数と対数関数	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・授業観察	・課題考査 ・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・授業観察
	評価点	100	100	100
2	数学Ⅱ 第4章 三角関数 第6章 微分法と積分法 数学 B 第1章 数列	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・授業観察	・課題考査 ・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・授業観察
	評価点	100	100	100
3	数学 C 第1章 平面上のベクトル 第2章 空間のベクトル	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・授業観察	・課題考査 ・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・授業観察
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1		数学Ⅱ	
		第2章 複素数と方程式	22
		第1節 複素数と2次方程式の解	
		第2節 高次方程式	
		第3章 図形と方程式	31
		第1節 点と直線	
		第2節 円	
2		第3節 軌跡と領域	
		第5章 指数関数と対数関数	22
		第1節 指数関数	
		第2節 対数関数	
		第4章 三角関数	27
		第1節 三角関数	
		第2節 加法定理	
3		第6章 微分法と積分法	33
		第1節 微分係数と導関数	
		第2節 関数の値の変化	
		第3節 積分法	
		数学B	
		第1章 数列	29
		第1節 等差数列と等比数列	
第2節 いろいろな数列			
第3節 漸化式と数学的帰納法			
3		数学C	
		第1章 平面上のベクトル	28
		第1節 ベクトルとその演算	
		第2節 ベクトルと平面図形	
		第2章 空間のベクトル	18

5 その他

パフォーマンス課題は、授業の進度の都合上、実施時期が前後するなど、予定が変更となる場合があります。
 パフォーマンス課題は、単元テストに含める形や、課題としての提出など、様々な形態で実施します。
 考查範囲については、授業の進度により前後する場合があります。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅱ+B	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		5	2	文型(クエションを除く)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、三角関数、微分法と積分法、数列、平面上のベクトル及び空間のベクトルの考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版「高等学校 数学Ⅱ」「高等学校 数学 B」副教材:数研出版「4プロセス数学Ⅱ+B」「チャート式解法と演習数学Ⅱ+B」「練習ドリル数学Ⅱ」「練習ドリル数学 B」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、三角関数、微分法と積分法、数列、平面上のベクトル及び空間のベクトルについての基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に解釈・表現・処理する技能が身についている。	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、三角関数、微分法と積分法、数列、平面上のベクトル及び空間のベクトルの構成要素と他の単元との関連に着目し、ひとつの問題に対して多面的・多角的な見方を通して、数理的に考察する力が身についている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式 第4章 三角関数	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・授業観察	・課題考査 ・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・授業観察
	評価点	100	100	100
2	第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数 第6章 微分法と積分法	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・授業観察	・課題考査 ・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・授業観察
	評価点	100	100	100
3	第6章 微分法と積分法 数学 B 第1章 数列	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・授業観察	・課題考査 ・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・授業観察
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
1		数学Ⅱ	14	
		第1章 式と証明		
		第1節 式と計算		
		第2節 等式・不等式の証明		
		第2章 複素数と方程式		
		第1節 複素数と2次方程式の解		
		第2節 高次方程式		
2		第3章 図形と方程式	20	
		第1節 点と直線		
		第2節 円		
		第3節 軌跡と領域		
		第4章 三角関数		24
		第1節 三角関数		
		第2節 加法定理		
第5章 指数関数と対数関数	28			
第1節 指数関数				
第2節 対数関数				
第6章 微分法と積分法		28		
第1節 微分係数と導関数				
第2節 関数の値の変化				
第3節 積分法				
3			第6章 微分法と積分法	7
			数学B	32
			第1章 数列	
		第1節 数列とその和		
第2節 数学的帰納法				

5 その他

パフォーマンス課題は、授業の進度の都合上、実施時期が前後するなど、予定が変更となる場合があります。
 パフォーマンス課題は、単元テストに含める形や、課題としての提出など、様々な形態で実施します。
 考查範囲については、授業の進度により前後する場合があります。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅱ	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		4	2	クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、三角関数、微分法と積分法、数列、平面上のベクトル及び空間のベクトルの考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版「高等学校 数学Ⅱ」 副教材:数研出版「4プロセス数学Ⅱ+B」「チャート式解法と演習数学Ⅱ+B」「練習ドリル数学Ⅱ」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、三角関数、微分法と積分法、数列、平面上のベクトル及び空間のベクトルについての基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に解釈・表現・処理する技能が身についている。	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、三角関数、微分法と積分法、数列、平面上のベクトル及び空間のベクトルの構成要素と他の単元との関連に着目し、ひとつの問題に対して多面的・多角的な見方を通して、数理的に考察する力が身についている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	第1節 式と計算 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・授業観察	・課題考査 ・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・授業観察
	評価点	100	100	100
2	第3章 図形と方程式 第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・授業観察	・課題考査 ・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・授業観察
	評価点	100	100	100
3	第5章 指数関数と対数関数 第6章 微分法と積分法	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・授業観察	・課題考査 ・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・授業観察
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1		数学Ⅱ 第2章 式と証明 第3節 式と計算 第4節 等式・不等式の証明	18
		第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	18
		第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	8
2		第3章 図形と方程式 第2節 円 第3節 軌跡と領域 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	27
		第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	19
		第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	15
3		第2節 対数関数	9
		第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	26

5 その他

パフォーマンス課題は、授業の進度の都合上、実施時期が前後するなど、予定が変更となる場合があります。
 パフォーマンス課題は、単元テストに含める形や、課題としての提出など、様々な形態で実施します。
 考查範囲については、授業の進度により前後する場合があります。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学A	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深める。さらに、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版「最新 数学A」 副教材:数研出版「新課程 書き込み式シリーズ 教科書併用 パラレルノート数学A」 「新課程 練習ドリル 数学A 基本から標準編」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身についている。	図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力が身についている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身についている。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	第1章 場合の数と確率	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマン課題 ・授業中の観察	・課題考査 ・課題提出状況 ・パフォーマン課題 ・授業中の観察
		100	100	100
2	第2章 図形の性質 第3章 数学と人間の活動	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマン課題 ・授業中の観察	・課題考査 ・課題提出状況 ・パフォーマン課題 ・授業中の観察
		100	100	100
3	第3章 数学と人間の活動	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマン課題 ・授業中の観察	・課題考査 ・課題提出状況 ・パフォーマン課題 ・授業中の観察
		100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1		第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 パフォーマンス課題1 場合の数	11
		第2節 確率 パフォーマンス課題2 確率	14 1学期中間考査 1学期期末考査
2		第2章 図形の性質 第1節 三角形の性質 パフォーマンス課題3 三角形の辺と角 第2節 円の性質 第3節 作図 パフォーマンス課題4 正五角形の作図	15 2学期中間考査
		第4節 空間図形 パフォーマンス課題5 正多面体が5種類である理由 第3章 数学と人間の活動 第1節 約数と倍数 第2節 1次不定方程式	5 10 2学期期末考査
3		第3節 記数法 第4節 座標の考え方 第5節 ゲーム・パズルの中の数学 パフォーマンス課題6 ゲーム・パズルの中の数学	15 学年末考査

5 その他

パフォーマンス課題については、単元テストやタブレット端末を用いた調べ学習など、さまざまな形態で実施します。
試験範囲については、授業の進度により前後する場合があります。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型（文型・理型）
数学	数学Ⅱ	3	3	体育

1 学習の到達目標

学習の到達目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書：数研出版 「最新 数学Ⅱ」 副教材：数研出版 「パラレルノート数学Ⅱ」 副教材：数研出版 「はぎ取り式 練習ドリル 数学Ⅱ基本から標準編」

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	各分野の考え方に興味を持つとともに、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	授業態度・課題提出 小テスト・自主課題	100
②数学的な見方や 考え方	事象を数学的に考察し表現したり、試行の仮定を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につける。	定期テスト 自主課題	100
③数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	定期テスト 小テスト	50
④知識・理解	基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身につけている。	定期テスト 小テスト	50

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	11	第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明	整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにするとともに、整式や不等式が成り立つ事を証明できるようにする。	○	○	○	○
	5	11	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して二次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。	○	○	○	○
	6		中間考査			○	○	○
	7	20	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域 期末考査	座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	20	第4章 三角関数	角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び監査区間数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○	○
	9		第1節 三角関数 第2節 加法定理		○	○	○	○
	10	16	中間考査	○	○	○	○	
	11		第5章 指数関数と対数関数	○	○	○	○	
	12	14	第1節 指数関数 第2節 対数関数	指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○	○
	12		第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数		○	○	○	○
			期末考査		○	○	○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	13	第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○	○
			学年末考査			○	○	○

4 その他

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型 (文型・理型)
数学	数学Ⅲ	7	3	理型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>数学Ⅲでは、図形の見方を発展的に捉えた複素数平面の概念と、さまざまな2次曲線・曲線の媒介変数表示、極座標について理解させる。また、数学ⅡBの既習事項を発展させた微分法、積分法について理解させる。学習の中で、基礎的な知識の習得と技能を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養い伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：数研出版「高等学校 数学Ⅲ」 副教材①：数研出版「4プロセス 数学Ⅲ」 副教材②：数研出版「チャート式 解法と演習 数学Ⅲ」 副教材③：数研出版「はぎ取り式 練習ドリル 数学Ⅲ標準編」 副教材④：ラーズ「共通テスト対策 実力養成 重要問題演習」</p>

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	<p>数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用し、数学的論拠に基づいて判断しようとする。</p>	<p>授業態度 課題提出状況</p>	100
②数学的な見方や 考え方	<p>数学についての基本的な概念や原理・法則などの習得や活用を通じて、数学的な見方や考え方を身につけている。問題解決に当たり、いろいろな角度や観点から問題を考察し数学的な関係や考え方を念頭に置いて問題を分析・整理するようにしている。</p>	<p>授業態度 定期考査 課題テスト</p>	100
③数学的な技能	<p>事象を数学的に考察し表現・処理する仕方や推論の方法を身につけ、問題を手際よく解決する技能を身につけている。</p>	<p>定期考査 課題テスト</p>	50
④知識・理解	<p>数学における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身につけている。</p>	<p>定期考査 課題テスト</p>	50

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	8	第2章「2次曲線」 (第1節のみ)	<p>・様々な関数の微分ができるようになるために、いろいろな関数とそのグラフ、方程式、不等式への応用ができるようになる。</p> <p>・扱ってきた様々な関数の極限の計算ができるようになること。またその極限をグラフで活用できるようになる。</p> <p>・様々な関数の微分ができるようになること。また、微分を用いて雑な関数のグラフの概形をかけるようになる、および、方程式や不等式への応用ができるようになる。</p> <p>・積分法の計算方法とその活用を理解し、微分法を用いて描いたグラフの面積計算や図形の問題に活用できる。</p>	○	○	○	○
	5	9	第3章「関数」		○	○	○	○
	6	10	第4章「関数の極限」		○	○	○	○
	7	15 25 10	第5章「微分法」 第6章「微分法の応用」 第7章「積分法とその応用」		○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8 9	15	第7章「積分法とその応用」	・積分法の計算方法とその活用を理解し、微分法を用いて描いたグラフの面積計算や図形の問題に活用できる。	○	○	○	○
		14	第1章「複素数平面」	・複素数の計算の図形的意味を理解し、方程式および図形の問題に応用できる。	○	○	○	○
	10	5	第2章「式と曲線」 (第2節)	・媒介変数表示と極座標を扱うにあたって、複素数で学んだ内容を活用できる。	○	○	○	○
	11 12	85	副教材および自主作成教材を利用した数学ⅠAⅡBⅢの演習	・基礎の確認から応用問題まで発展させ、内容の理解を深めるとともに、様々な分野の問題の解法を考えられるように実践力をつける。	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1 2 3	49	副教材および自主作成教材を利用した数学ⅠAⅡBⅢの演習	・基礎の確認から応用問題まで発展させ、内容の理解を深めるとともに、様々な分野の問題の解法を考えられるように実践力をつける。	○	○	○	○

4 その他

--

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
数学	数学②演習	5	3	文型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	1・2年次に習得した基礎的な知識や技能の定着を図るとともに、実践的に事象を数学的に考察し表現する能力を養う。
使用教科書 副教材等	副教材:数研出版「ベーシックスタイル 数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B」 副教材:ラーズ「共通テスト対策 実力養成 重要問題演習」

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事の考察に積極的に利用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	授業態度	100
②数学的な見方や 考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。	授業態度・定期考査	100
③数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	定期考査	50
④知識・理解	数学における基本概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	授業態度・定期考査	50

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	54	問題を演習・解説する。	基礎を確認し、実践的に事象を数学的に考察し表現する能力を養う。	○	○	○	○
	5							
	6							
	7							

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	83	実践的な演習・解説を繰り返す。	基礎を確認し、実践的に事象を数学的に考察し表現する能力を養う。	○	○	○	○
	9							
	10							
	11							
	12							

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	38	自作プリントにより実践的な演習・解説を繰り返す。	基礎を確認し、実践的に事象を数学的に考察し表現する能力を養う。	○	○	○	○
	2							
	3							

4 その他

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
数学	数学③演習	7	3	理型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	大学入学試験に向けた演習を重ね、実践力をつける。
使用教科書 副教材等	副教材：数研出版「三訂版 シニア数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B(受験編)」 副教材：ラーズ「共通テスト対策 実力養成 重要問題演習」

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事の考察に積極的に利用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	授業態度	100
②数学的な見方や 考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。	授業態度・定期考査	100
③数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	定期考査	50
④知識・理解	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	授業態度・定期考査	50

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	77	問題を演習・解説する。	基礎を確認し、初歩的な問題から応用問題まで自分で解答作成ができるための演習を重ね、実践力をつける。	○	○	○	○
	5							
	6							
	7							

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	119	大学入学共通試験レベルや傾向に合わせたより実践的な演習・解説を繰り返す。	基礎を確認し、初歩的な問題から応用問題まで自分で解答作成ができるための演習を重ね、実践力をつける。	○	○	○	○
	9							
	10							
	11							
	12							

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	49	自作プリントにより実践的な演習・解説を繰り返す。	基礎を確認し、初歩的な問題から応用問題まで自分で解答作成ができるための演習を重ね、実践力をつける。	○	○	○	○
	2							
	3							

4 その他

授業前に必ず1度は自分で問題を読んで、解いてみる。3年の演習は復習よりも予習を重点的に行う。間違えた問題は過去の問題集などを活用して類題を探し、繰り返し練習を行きましょう。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
数学	数学④演習	3	3	文型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	特に数学Ⅰ・Aの分野において、1・2年次に習得した基礎的な知識や技能の定着を図るとともに、実践的に事象を数学的に考察し表現する能力を養う。
使用教科書 副教材等	副教材:数研出版「ベーシックスタイル 数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B(受験編)」 副教材:ラーズ「共通テスト対策 実力養成 重要問題演習」

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事の考察に積極的に利用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	授業態度	100
②数学的な見方や 考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。	授業態度・定期考査	100
③数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	定期考査	50
④知識・理解	数学における基本概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	授業態度・定期考査	50

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	37	数学Ⅰ+Aの問題を演習・解説する。	基礎を確認し、実践的に事象を数学的に考察し表現する能力を養う。	○	○	○	○
	5							
	6							
	7							

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	48	実践的な演習・解説を繰り返す。	基礎を確認し、実践的に事象を数学的に考察し表現する能力を養う。	○	○	○	○
	9							
	10							
	11							
	12							

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	20	自作プリントにより実践的な演習・解説を繰り返す。	基礎を確認し、実践的に事象を数学的に考察し表現する能力を養う。	○	○	○	○
	2							
	3							

4 その他

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学基礎	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	1	普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>(1)原子の構造及び電子配置と周期律との関係性を理解させる。また、物質の性質について観察、実験などを通して探究し、化学結合と物質の性質との関係を理解させ、物質について微視的な見方ができるようにする。</p> <p>(2)化学反応の量的関係、酸と塩基の反応及び酸化還元反応について観察、実験などを通して探究し、化学反応に関する概念や法則を理解させるとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:数研出版 新編 化学基礎</p> <p>副教材:浜島書店 基本 ステップノート 化学基礎 カラー版</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、物質の構成と化学結合、物質の変化について基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために観察、実験などに関する基本的操作や記録などの基本的技能を身につけている。	物質の構成と化学結合、物質の変化について問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質の構成と化学結合、物質の変化について主体的に関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	1編 物質の構成と化学結合 1章 物質の構成 2章 物質の構成粒子 3章 粒子の結合	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・提出物、授業態度等
		100点	100点	100点
2 学 期	3章 粒子の結合 2編 物質の変化 1章 物質と化学変化 2章 酸と塩基の反応	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・提出物、授業態度等
		100点	100点	100点
3 学 期	3章 酸化還元反応	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・提出物、授業態度等
		50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	1編 物質の構成と化学結合 1章 物質の構成 ①純物質と混合物 ②物質とその成分	8
	5	2章 物質の構成粒子 ①原子とその構造	2
			1学期中間考査
	6	3章 粒子の結合 ①イオン結合とイオンからなる物質	10
	7	②分子と共有結合 ③共有結合結晶	
		1学期期末考査	
2 学期	8	④金属結合と金属	2
		2編 物質の変化	12
	9	1章 物質と化学変化 ①原子量・分子量・式量 ②物質質量 ③溶液の濃度	
	10	④化学反応式と物質質量 【実験】化学反応の量的関係を調べる	
		2学期中間考査	
	2章 酸と塩基の反応	14	
	11	①酸と塩基 ②水の電離と水溶液の pH	
		③中和反応 【実験】中和滴定	
	12	④塩	
		2学期期末考査	
3 学期	1	3章 酸化還元反応 ①酸化と還元	18
	2	②酸化剤と還元剤 【実験】酸化剤と還元剤の反応を観察する	
	3	③金属の酸化還元反応 ④酸化還元反応の利用	
		学年末考査	

5 その他

- ・毎時間、必ず予習を行ってから授業に臨み、授業中もきちんとノートをとること。
- ・配られるプリント類はきちんと整理すること。
- ・計算問題・課題等は必ず自力で解くこと。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	科学と人間生活	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	1	体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な物事・現象に関する観察、実験などを通して理解し、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
使用教科書 副教材等	教科書:高等学校 改訂 科学と人間生活(第一学習社) 副教材:改訂 ネオパルノート科学と人間生活(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 科学における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身につけている。 事象を科学的に考察し表現・処理する仕方や推論の方法を身につけ、問題を手際よく解決する技能を身につけている。 	科学についての基本的な概念や原理・法則などの習得や活用を通して、科学的な見方や考え方を身につけている。問題解決に当たり、いろいろな角度や観点から考察し科学的な考え方を念頭に置いて問題を分析・整理するようにしている。	科学や科学現象について、興味や関心をもち、科学的事象の考察に積極的に活用し、科学的論拠に基づいて判断しようとする。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	第Ⅰ編 科学技術の発展 情報伝達技術の発展 第Ⅱ編 人間生活の中の科学 第1章 物質の科学	・定期考査等	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析
	評価点	120	120	120
2 学 期	第2章 生命の科学 第3章 熱や光の科学	・定期考査等	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析
	評価点	120	120	120
3 学 期	第4章 地球や宇宙の科学	・定期考査等	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析
	評価点	60	60	60

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	第Ⅰ編 科学技術の発展 情報伝達技術の発展	3
	5	第Ⅱ編 人間生活の中の科学 第1章 物質の科学	7
	6	第1節 材料とその利用	1 学期中間考査
	7	第2節 衣料と食品 繊維が燃えるようすの観察(実験レポート)	14 1 学期期末考査
2 学 期	8	第2章 生命の科学 第1節 生物と光	5
	9	第2節 微生物とその利用 アルコール発酵の観察(実験レポート)	9
	10		2 学期中間考査
	11	第3章 熱や光の科学 第1節 熱の性質とその利用 熱伝導性の違いの確認(実験レポート)	9
	12	第2節 光の性質とその利用	5 2 学期期末考査
3 学 期	1	第4章 地球や宇宙の科学	
	2	第1節 身近な自然景観と自然災害 ハザードマップの調査(ポスター作製)	11
	3	第2節 身近な天体と太陽系における地球	7 学年末考査

5 その他

- ・定期考査・小テスト・提出物(課題・実験レポート)・授業態度等を総合的に判断して評価します。
- ・集中して授業を受け、その日に習った内容は問題集を積極的に活用し復習するようにしましょう。
- ・計算問題や課題等は必ず自力で解くようにしましょう。
- ・授業進度によって、扱う単元に多少の変更があります。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	物理基礎	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	理型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	教科書・新編物理基礎(東京書籍) 副教材・新課程ニューサポート新編物理基礎(東京書籍)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーから問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	物理基礎 物体の運動とエネルギー 運動の表し方 様々な力とその働き 力学的エネルギー	・定期考査等	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析
		120	120	120
2	物理基礎 様々な物理現象とエネルギーの利用 波 熱	・定期考査等	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析
		120	120	120
3	物理基礎 様々な物理現象とエネルギーの利用 電気の利用 物理学が拓く世界	・定期考査等	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析
		60	60	60

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	物理基礎 物体の運動とエネルギー 運動の表し方	14
	5	物理量の測定と扱い方 運動の表し方 直線運動の加速度	
	6	様々な力とその働き 様々な力 力のつりあい 運動の法則 物体の落下運動	7
	7	力学的エネルギー 運動エネルギーと位置エネルギー 力学的エネルギーの保存	7
2	9	物理基礎 様々な物理現象とエネルギーの利用	14
	10	波 波の性質 音と振動	14
		熱	
		熱と温度	
12	熱の利用		
3		物理基礎 様々な物理現象とエネルギーの利用	14
	1	電気の利用	
	2	物質と電気抵抗	
	3	電気の利用 物理学が拓く世界	

5 その他

- ・定期考査・小テスト・提出物(課題・実験レポート)・授業態度等を総合的に判断して評価します。
- ・集中して授業を受け、その日に習った内容は問題集を積極的に活用し復習するようにしましょう。
- ・計算問題や課題等は必ず自力で解くようにしましょう。
- ・授業進度によって、扱う単元に多少の変更があります。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	物理基礎+物理	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		3	2	理型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	教科書:高等学校 物理基礎(第一学習社) 高等学校 物理(第一学習社) 副教材:新課程版 セミナー物理基礎+物理(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	物理学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	物理的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物理的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	物理基礎 物体の運動とエネルギー 運動の表し方 様々な力とその働き 力学的エネルギー	・定期考査等	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析
		120	120	120
2	物理基礎 様々な物理現象とエネルギーの利用 波 熱 電気の利用 物理学が拓く世界	・定期考査等	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析
		120	120	120
3	物理 波 波の伝わり方 音 光	・定期考査等	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析
		60	60	60

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1		物理基礎 物体の運動とエネルギー 運動の表し方 物理量の測定と扱い方 運動の表し方 直線運動の加速度	14
		様々な力とその働き 様々な力 力のつりあい 運動の法則 物体の落下運動	7
		力学的エネルギー 運動エネルギーと位置エネルギー 力学的エネルギーの保存	7
2		物理基礎 様々な物理現象とエネルギーの利用 波 波の性質 音と振動	14
		熱 熱と温度 熱の利用	14
		電気の利用 物質と電気抵抗 電気の利用	14
		物理学が拓く世界	
3		物理 波 波の伝わり方 波の伝わり方とその表し方 波の干渉と回折	7
		音 音の干渉と回折 音のドップラー効果	14
		光 光の回折と干渉	14

5 その他

- ・定期考査・小テスト・提出物(課題・実験レポート)・授業態度等を総合的に判断して評価します。
- ・集中して授業を受け、その日に習った内容は問題集を積極的に活用し復習するようにしましょう。
- ・計算問題や課題等は必ず自力で解くようにしましょう。
- ・授業進度によって、扱う単元に多少の変更があります。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	理型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版「新編化学」 副教材:第一学習者「セミナー化学基礎+化学」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	化学的な事物・現象から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	化学的な事物・現象に主体的に赤くあり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	第2編 物質の変化 第2章 電池と電気分解 第1章 化学反応とエネルギー 第1編 物質の状態 第1章 固体の構造	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・提出物 ・課題提出 ・振り返り
		100点	100点	100点
2 学 期	第2章 物質の状態変化 第3章 気体 第4章 溶液	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・提出物 ・振り返り
		100点	100点	100点
3 学 期	第2編 物質の変化 第3章 化学反応の速さとしくみ 第4章 化学平衡	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・提出物 ・振り返り
		50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
1 学期	4	第2編 物質の変化 第2章 電池と電気分解 ①電池 ②電気分解	8	
		第1章 化学反応とエネルギー ①化学反応と熱	2	
	6	②ヘスの法則 ③化学反応と光	4	
		第1編 物質の状態 第1章 固体の構造	8	
		①結晶とアモルファス ②金属結晶 ③イオン結晶 ④分子間力と分子結晶 ⑤共有結合の結晶		
			1学期中間考査	
			1学期期末考査	
2 学期	8	第2章 物質の状態変化 ①粒子の熱運動	6	
	9	②三態の変化とエネルギー ③気液平衡と蒸気圧		
	10	第3章 気体 ①気体の体積 ②気体の状態方程式	10	
		【実験】気体の分子量測定 2学期中間考査		
	11	③混合気体の圧力 ④実在気体	8	
		第4章 溶液 ①溶解とそのしくみ	6	
12	②溶解度 ③希薄溶液の性質 ④コロイド溶液			
		【実験】コロイド溶液 2学期期末考査		
3 学期	1	第2編 物質の変化 第3章 化学反応の速さとしくみ	8	
	2	①化学反応の速さ ②反応条件と反応速度		
		③化学反応のしくみ	【実験】反応速度	
3	第4章 化学平衡 ①可逆平衡と化学平衡 ②平衡状態の変化 ③電解質水溶液の化学平衡	10		
		学年末考査		

5 その他

- ・毎時間、必ず予習を行ってから授業に臨み、授業中もきちんとノートをとること。
- ・配られるプリント類はきちんと整理すること。
- ・計算問題・課題等は必ず自力で解くこと。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物基礎	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	理型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1. 生物や生物現象について, 興味や関心を高める。 2. 生物学的に探究する能力と態度を育てる。 3. 基本的な概念や原理・法則を理解させ, 科学的な自然観を育成する。 4. 自然環境を保全することの大切さを理解させる。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版 高等学校 生物基礎(生基/708) 副教材:数研出版 新課程リード light ノート 生物基礎

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにする。	生物や生物現象から問題を見だし、見通しを持って観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき 第3章 生物の体内環境	・定期考査	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・課題提出状況 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	120	120	120
2	第3章 生物の体内環境 第4章 植生の多様性と分布	・定期考査	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・課題提出状況 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	120	120	120
3	第4章 植生の多様性と分布 第5章 生態系の保全	・定期考査	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	60	60	60

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	第0章 生物基礎を学ぶにあたって 探究活動の進め方	9
	5	第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性と多様性 第2節 細胞とエネルギー	
	6	----- 第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA 第2節 遺伝情報の分配	14
	7	第3節 遺伝情報とタンパク質の合成 ----- 第3章 生物の体内環境 第1節 体内環境としての体液	
		中間考査	
2	8	第2節 腎臓と肝臓による調節	10
	9		
	10	-----	13
	11	第3節 神経とホルモンによる調節 第4節 免疫	
		期末考査	
	12	----- 第4章 植生の多様性と分布 第1節 植生と遷移	4
3	1	第2節 気候とバイオーム	15
	2	第5章 生態系とその保全 第1節 生態系と循環 第2節 生態系のバランスと保全	
			学年末考査
	3	今年度のまとめ	1

5 その他

--

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物基礎+生物	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		3	2	理型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1. 生物や生物現象について, 興味や関心を高める。 2. 生物学的に探究する能力と態度を育てる。 3. 基本的な概念や原理・法則を理解させ, 科学的な自然観を育成する。 4. 自然環境を保全することの大切さを理解させる。
使用教科書 副教材等	教科書: 数研出版 高等学校 生物基礎(生基/708), 数研出版 生物(生物/704) 副教材: 数研出版 新課程リード light ノート 生物基礎 第一学習社 新課程 二訂版 スクエア最新図説生物 neo 数研出版 新課程リードα生物

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生物学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見だし, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 得られた結果を分析して解釈し, 表現するなど, 科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	〔生物基礎範囲〕 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき 第3章 生物の体内環境	・定期考査	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・課題提出状況 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	120	120	120
2	第3章 生物の体内環境 第4章 植生の多様性と分布 第5章 生態系の保全	・定期考査	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・課題提出状況 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	120	120	120
3	〔生物範囲〕 第1編 生命現象と物質 第2章 代謝	・定期考査	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	60	60	60

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	〔生物基礎範囲〕 第0章 生物基礎を学ぶにあたって	13
	5	探究活動の進め方	
	6	第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性と多様性 第2節 細胞とエネルギー	19
1	7	第2章 遺伝子とのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA 第2節 遺伝情報の分配 第3節 遺伝情報とタンパク質の合成	7
		第3章 生物の体内環境 第1節 体内環境としての体液 第2節 腎臓と肝臓による調節	
		第3節 神経とホルモンによる調節 第4節 免疫	
		期末考査	
2	8	第4章 植生の多様性と分布 第1節 植生と遷移	19
	9	第2節 気候とバイオーム	
	10	-----	18
	11	第5章 生態系とその保全 第1節 生態系と循環 第2節 生態系のバランスと保全	
12	-----	6	
3	1	第1編 生命現象と物質 第1章 細胞と分子 (生体物質と細胞)	4
	2	第2章 代謝	17
	3	----- 今年度のまとめ	2

5 その他

--

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物基礎	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	文型・クリエイション・体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1. 生物や生物現象について, 興味や関心を高める。 2. 生物学的に探究する能力と態度を育てる。 3. 基本的な概念や原理・法則を理解させ, 科学的な自然観を育成する。 4. 自然環境を保全することの大切さを理解させる。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版 高等学校 生物基礎(生基/708) 副教材:数研出版 新課程リード light ノート 生物基礎

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにする。	生物や生物現象から問題を見だし、見通しを持って観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき 第3章 生物の体内環境	・定期考査	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・課題提出状況 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	120	120	120
2	第3章 生物の体内環境 第4章 植生の多様性と分布	・定期考査	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・課題提出状況 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	120	120	120
3	第4章 植生の多様性と分布 第5章 生態系の保全	・定期考査	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	60	60	60

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	第0章 生物基礎を学ぶにあたって 探究活動の進め方	9
	5	第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性と多様性 第2節 細胞とエネルギー	
	6	----- 第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA 第2節 遺伝情報の分配	14
	7	第3節 遺伝情報とタンパク質の合成 ----- 第3章 生物の体内環境 第1節 体内環境としての体液	
		中間考査	
2	8	第2節 腎臓と肝臓による調節	10
	9		
	10	-----	13
	11	第3節 神経とホルモンによる調節 第4節 免疫	
		期末考査	
	12	----- 第4章 植生の多様性と分布 第1節 植生と遷移	4
3	1	第2節 気候とバイオーム	15
	2	第5章 生態系とその保全 第1節 生態系と循環 第2節 生態系のバランスと保全	
			学年末考査
	3	今年度のまとめ	1

5 その他

--

様式7

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	地学基礎	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	文型・刈工(イ)ン

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>地球や地球を取り巻く環境に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 見通しをもって観察, 実験を行うことなどを通して, 地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら, 地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度と, 自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書: 第一学習社「高等学校 地学基礎」</p> <p>副教材: 第一学習社「2023 新課程版セミナー地学基礎(Libry)」</p> <p>第一学習社「新課程二訂版スクエア最新図説地学」</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら, 地球や地球を取り巻く環境についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境から問題を見だし, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 得られた結果を分析して解釈し, 表現するなど, 科学的に探究している。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	第6章地球の環境 第1章地球のすがた 第2章地球の活動	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・課題提出物	・パフォーマンス課題 ・課題提出 ・振り返り
		120点	120点	120点
2	第5章生物の変遷と地球環境 第3章大気と海洋	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・パフォーマンス課題 ・課題提出 ・振り返り
		120点	120点	120点
3	第4章宇宙と地球	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・パフォーマンス課題 ・課題提出 ・振り返り
		60点	60点	60点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	第6章 地球の環境 パフォーマンス課題1 地球の環境のまとめ活動・グループ内発表 第1節 地球環境の科学 1. 気候変動 2. 地球温暖化による変化 3. オゾン層の変化	6
	5	1～3を学習し、地球と人類が現在置かれている状況を把握するとともに、地学を学ぶ意義・目的を明確にする。 第2節 日本の自然環境 1. 自然の恩恵 2. 季節の変化 3. 気象災害① 4. 気象災害② 5. 地震災害 6. 地震災害による被害の軽減 7. 火山災害と防災 1～7を学習し、これから日本で安全・安心に生きていくための知恵を身につける。 パフォーマンス課題2 1学期中間レポート 1学期中間考査	
	6	第1章 地球のすがた パフォーマンス課題3 地球のすがたのまとめ活動・グループ内発表 第1節 地球の概観 1. 地球の形と大きさ 2. 地球の形の特徴と大きさ 3. 地球の内部構造 4. 地球内部の動き	12
	7	1～4を学習し、私たちの住処である地球がどのようなものなのかを理解する。 第2節 プレートの運動 1. プレートの分布と運動 2. プレートの境界 3. 地殻の変動と地質構造 4. 変成作用 5. 大地形の形成 パフォーマンス課題4 地球のすがたの実験①・グループ内共有 1～5について学習し、地球のこれまでとこれからの動き方を理解する。	
		第2章 地球の活動 第1節 地震 1. 地震の発生と分布 2. 地震波の伝わり方 3. 日本付近で発生する地震① 4. 日本付近で発生する地震② 1～4について学習し、これから日本や世界で起こる地震に備えるための知恵を身につける。	
		第2節 火山活 1. 火山の分布 2. 火山の形成とマグマ 3. 火山の噴火 4. 火山の地形 5. 火成岩の形成 6. 火成岩の種類 パフォーマンス課題5 地球のすがたの実験②・グループ内共有 1～6について学習し、これから日本や世界で起こる火山噴火に備えるための知恵を身につける。 パフォーマンス課題6 1学期期末レポート 1学期期末考査	

2	8	<p>第5章 生物の変遷と地球環境</p> <p>第1節 地層と化石</p> <p>1. 地層の形成 2. 地層の重なりと広がり 3. 堆積岩 4. 化石と地質時代①</p> <p>5. 化石と地質時代②</p> <p>1～5について学習し、地球の歴史の組み立て方を理解するとともに、地球史を探究する上では地層はごちそうであることを実感する。</p>	10
	9	<p>第2節 地球と生物の変遷 パフォーマンス課題 7 地球史まとめ活動・グループ内発表</p> <p>1. 先カンブリア時代① 2. 先カンブリア時代② 3. 古生代① 4. 古生代②</p> <p>5. 中生代 6. 新生代① 7. 新生代②</p> <p>1～7について学習し、地球の壮大な歴史と生命の奇跡的な進化を理解し、自分や他者の命の尊さや生物多様性の保全の大切さについて考察する。</p> <p style="text-align: right;">パフォーマンス課題 8 2学期中間レポート 2学期中間考査</p>	10
	10	<p>第3章 大気と海洋</p> <p>第1節 地球のエネルギー収支 パフォーマンス課題 9 大気と海洋の実験①・グループ内共有</p> <p>1. 大気の特徴と特徴① 2. 大気の特徴と特徴② 3. 対流圏における水の変化</p> <p>4. 太陽放射と地球放射 5. 地球を出入りするエネルギー</p> <p>1～5について学習し、私たちの日常生活への影響を理解するとともに、より安全・安心・快適な生活を送るための方法を考察する。</p>	12
	11	<p>第2節 大気と海水の運動 パフォーマンス課題 10 大気と海洋の実験②・グループ内共有</p> <p>1. エネルギー収支の緯度分布 2. 風 3. 大気の大循環① 4. 大気の大循環②</p> <p>5. 海洋の構造 6. 海洋の大循環 7. エルニーニョ現象とラニーニャ現象</p> <p>1～7について学習し、私たちの日常生活への影響を理解するとともに、より安全・安心・快適な生活を送るための方法を考察する。</p> <p style="text-align: right;">パフォーマンス課題 11 2学期期末レポート 2学期期末考査</p>	
3	12	<p>第4章 宇宙と地球</p> <p>第2節 太陽系と地球の誕生</p> <p>1. 太陽系の構造 2. 太陽系の誕生① 3. 太陽系の誕生② 4. 太陽系惑星</p> <p>5. 生命の惑星・地球</p> <p>1～5について学習し、太陽系の中の地球やそこで暮らす生物という存在が極めて稀有なものであることを理解し、自分や他者の命の尊さや生物多様性の保全の大切さについて考察する。</p>	10
	2	<p>第4章 宇宙と地球</p> <p>第1節 宇宙と太陽の誕生 パフォーマンス課題 12 宇宙史まとめ活動・グループ内発表</p> <p>1. 宇宙の探究 2. 宇宙の始まり① 3. 宇宙の始まり② 4. 太陽の誕生 5. 太陽の活動</p> <p>1～5について学習し、宇宙の壮大な時間・空間・歴史について理解し、これまで1年間に学習した内容との一貫した連続性について考察し、地球規模で考えて行動することについて考察する。</p> <p style="text-align: right;">パフォーマンス課題 13 学年末レポート 学年末考査</p>	10

5 その他

現象や物体を観察し、考えることで、疑問を感じ、自ら問いを立てることができます。自分の疑問を出発点とした主体的な学習を心がけましょう。また、単元によっては、予習・授業・復習を反転授業の形式で行う予定です。予習として、自分で授業解説動画を視聴する習慣をつけていきましょう。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型 (文型・理型)
理科	物理	5	3	理型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	物体の運動とさまざまなエネルギーへの関心を高め、物理的に探究する能力と態度を育てる。物理の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。
使用教科書 副教材等	物理 第一学習社 セミナー物理基礎+物理 第一学習社

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。	授業態度、提出物	20
②思考・判断 ・表現	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	定期考査、実験レポート 発問評価	30
③観察・実験 の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	実験技能、発問評価 実験レポート	20
④知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。	定期考査、発問評価 提出物	30

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	35	第1章 運動とエネルギー	・力のモーメント、運動量について学習し、物体に働く力について理解する。 ・等速円運動を学習し、加速度と向心力を理解する。単振動と等速円運動の関係を学習する。	○	○	○	○
	5				○	○	○	○
	6	30	第4節 気体の性質と分子の運動	・ボイルシャルルの法則、気体の圧力、気体の内部エネルギーを学習する。定積変化や定圧変化などの気体の状態変化を学習する。熱機関の熱効率を復習し、気体の状態変化と関連させる。	○	○		○
	7							

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	35	第2章 波動	・波の性質について、平面波の干渉、ホイヘンスの原理について学習する。 ・音波について、ドップラー効果について学習する。 ・光波について、光の速さと屈折、光の干渉、散乱や屈折について学習する。	○	○	○	○
	9				○	○	○	○
	10				○	○	○	○
	11	40	第3章 電気と磁気	・電荷や帯電、コンデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電体、誘電率について理解する。 ・コンデンサーを接続したときの合成容量、静電エネルギーについて理解する。	○	○	○	○
	12							

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	35	第IV章 原子 第1節 電子と光 第2節 原子と原子核	<ul style="list-style-type: none"> 電子の性質が解明されるまでのトムソンやミリカンの実験について理解する。 光電効果とその特徴を学習する。X線の発生とその原理を学習する。物質波について学習する。 	○	○	○	○
	2							
	3							

4 その他

身のまわりの現象や物に注意して、何が起きているかを観察し、「なぜ？」を大切にしよう。

物理概念を理解し、現象を説明できる力をつけよう。

問題演習は授業の進度にあわせて解き、わからないときは教科担当に質問しよう。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型 (文型・理型)
理科	化学基礎	2	3	体育

1 学習の到達目標

学習の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：数研出版 改訂版 新編化学基礎 副教材：改訂版 新編 化学基礎準拠ノート 教科書の整理 改訂版 新編 化学基礎準拠ノート まとめと問題

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	化学の学習内容に関心をもち、自ら課題に取り組もうとする意欲や態度を生徒が身に付けているかどうかを評価	提出物、授業態度	20%
②思考・判断 ・表現	化学の知識・技能を活用して課題を解決すること等のために必要な思考力・判断力・表現力等を生徒が身につけているかどうかを評価	定期考査、提出物、 授業態度	30%
③観察・実験の 技能	化学において習得すべき技能を生徒が身につけているかどうかを評価	提出物、 実験観察等の授業態度	20%
④知識・理解	化学において習得すべき知識や重要な概念等を生徒が身につけているかどうかを評価	定期考査、小テスト、 提出物	30%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	2	1編 物質の構成と化学結合 1章 物質の構成 ①純物質と混合物 ②物質とその成分	多種多様な物質を観察することによって、それらを整理・分類し、共通した要素や、個々の相違点を調べることによって、物質の成りたちを追求する。	○	○	○	○
	5	2	2章 物質の構成粒子 ①原子とその構造	物質を理解する基礎として、物質を構成する基礎的な粒子である原子と、原子から生じるイオンや原子が種々の方法で結合した物質について、その構造や表しかた、それらの関係を学ぶ。	○	○	○	○
		4	②イオン ③元素の周期表 3章 粒子の結合 ①イオン結合とイオンからなる物質	物質が連続性をもたない小さな粒子からなることは中学校でも学習しているが、個々の粒子がどのようなくみで結合しているかは、簡単に触れただけで終わっている。ここではそれをさらに詳しく扱うことによって、物質の性質との関連も同時に学ぶ。	○	○	○	○
		1	中間考査			○		○

	6	12	②分子と共有結合 ③共有結合結晶		○	○	○	○
	7		④金属結合と金属 2編 物質の変化 1章 物質質量と化学変化 ①原子量・分子量・式量	物質の質量と、物質を構成する原子・分子・イオンなどの質量や数との関係や、気体についてはさらに体積との関係を学び、化学の学習に欠かすことのできない物質質量の考え方を身につける。				
		1	期末考査			○		○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	14	②物質質量 ③溶液の濃度 ④化学反応式と物質質量		○	○	○	○
	9		2章 酸と塩基の反応 ①酸と塩基	酸・塩基の定義や酸性・塩基性について、その本質が何であるかを考え、酸性・塩基性の強さの度合いの表し方を学ぶ。また、pHの表し方・中和の量的関係を学び、中和によって生じる塩の水溶液は必ずしも中性でないことにもふれる。				
	10		②水の電離と水溶液のpH					
	11	1	中間考査			○		○
	12	14	③中和反応 ④塩 3章 酸化還元反応 ①酸化と還元 ②酸化剤と還元剤 ③金属の酸化還元反応 ②酸化還元反応の利用	電子の授受によって考えられる現象として酸化・還元を学ぶ。その場合、酸化数という便利な指標を用いて酸化・還元を統一的に考え、理解を深める。また、電池の化学反応は、すべて酸化還元反応であるから、これらもあわせて学習する。	○	○	○	○
	1	期末考査			○		○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	18	②酸化還元反応の応用	大学入学共通テスト対策等	○	○	○	○
	2		総復習					
	3							

4 その他

<p>毎時間、きちんとノートをとること。配られるプリント類はきちんと整理すること。計算問題・課題等は必ず自力で解くこと。</p>
--

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型 (文型・理型)
理科	化学	4	3	理型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：数研出版 「新編化学」 副教材：浜島書店 インプレス化学ノート 第一学習社 セミナー化学基礎+化学

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	化学の学習内容に関心をもち、自ら課題に取り組もうとする意欲や態度を生徒が身につけているかどうかを評価	定期考査、提出物、授業態度	20
②思考・判断 ・表現	化学の知識・技能を活用して課題を解決すること等のために必要な思考力・判断力・表現力等を生徒が身につけているかどうかを評価	定期考査、提出物、授業態度	30
③観察・実験の 技能	化学において習得すべき技能を生徒が身につけているかどうかを評価	定期考査、提出物、実験観察等の授業態度	20
④知識・理解	化学において習得すべき知識や重要な概念等を生徒が身につけているかどうかを評価	定期考査、小テスト、宿題、提出物	30

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	19	第2編 物質の変化 第4章 化学平衡	(2年生の学習内容の続き) 100種類以上ある元素も、その性質によっていくつかのグループに分けて考えるとより理解しやすい。元素を周期表に基づいて分類し、それに合わせて単体や化合物の性質を広く学ぶ。 金属元素は非金属元素とは大きく性質が異なる点に着目して学習する。	○	○	○	○
	5	3電解質水溶液の化学平衡						
	6	第3編 無機物質 第1章 非金属元素 1元素の分類と周期表						
	7	2水素・希ガス元素 3ハロゲン元素、4酸素・硫黄、 5窒素・リン、6炭素・ケイ素 第2章 典型金属元素 1アルカリ金属元素、22族元素、 3アルミニウム・亜鉛、4スズ・鉛						
		1	中間考査		○		○	

		23	<p>第3章 遷移元素</p> <p>1 遷移元素の特徴</p> <p>2 鉄, 3 銅, 4 銀, 5 金, 6 クロム, 7 マンガン</p> <p>8 金属イオンの分離・確認</p> <p>第4編 有機物質</p> <p>第1章 有機物質の分類と分析</p> <p>1 有機化合物の特徴と分類</p> <p>2 有機化合物の分析</p>	<p>遷移元素は典型元素とは異なり、互いに性質がある程度似通っているため、族の分類と関係なく学ぶほうが効率的である。身近な元素を中心に、単体や化合物、イオンなど特徴的な性質を学ぶ。</p> <p>有機化合物は、前編の無機物質に比べて生命体と密接な関係があり、また、衣食住を満たすために欠くことのできない化合物が数多く存在する。このような有機化合物の特徴や分類法、成分元素の検出、そして実験から分子式を求める方法などを学ぶ。</p>	○	○	○	○
		1	期末考査			○		○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	32	第2章 脂肪族炭化水素	<p>脂肪族炭化水素は、種々の有機化合物を学ぶ上で基本となる構造をもつ化合物である。分子の構造に基づく有機化合物の考え方を把握する。</p> <p>酸素を含む有機化合物について、特徴的な性質を学ぶ。</p>				
	9		1 飽和炭化水素					
	10		2 不飽和炭化水素					
	11		第3章 アルコールと関連化合物					
	12		1 アルコールとエーテル					
		1	中間考査		○		○	
		28	<p>第4章 芳香族化合物</p> <p>1 芳香族炭化水素</p> <p>2 フェノール類</p> <p>3 芳香族カルボン酸</p> <p>4 芳香族アミンとアゾ化合物</p> <p>5 有機化合物の分離</p> <p>第5編 高分子化合物</p> <p>第1章 高分子化合物の特徴</p> <p>1 高分子化合物の構造と性質</p> <p>第2章 天然高分子化合物</p> <p>1 天然高分子化合物の種類</p> <p>2 単糖・二糖, 3 多糖, 4 アミノ酸, 5 タンパク質</p> <p>第3章 合成高分子化合物</p> <p>1 合成繊維</p> <p>2 合成樹脂</p> <p>3 天然ゴムと合成ゴム</p>	<p>ニトロ化, ハロゲン化, スルホン化など主要な反応と、それらにより作られる代表的な化合物の性質を学ぶ。</p> <p>高分子化合物について、組成や構造がその性質とどのように関連しているかを理解し、化学的な理解を深める。</p> <p>生体を構成する有機化合物にはどのようなものがあるか理解する。</p>				
		1	期末考査		○		○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	34	入試対策・問題演習	学習の総復習として理解不十分なところを理解させる。	○	○	○	○
	2							
	3							

4 その他

毎時間、きちんとノートをとること。配られるプリント類はきちんと整理すること。計算問題・課題等は必ず自力で解くこと。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
理科	化学基礎演習	2	3	文型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：数研出版 改訂版 新編 化学基礎 副教材：第一学習社 標準セミナー 化学基礎

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	化学の学習内容に関心をもち、自ら課題に取り組もうとする意欲や態度を生徒が身に付けているかどうかを評価	小テスト、提出物	15%
②思考・判断 ・表現	化学の知識・技能を活用して課題を解決すること等のために必要な思考力・判断力・表現力等を生徒が身につけているかどうかを評価	定期考査、実験レポート	35%
③観察・実験の 技能	化学において習得すべき技能を生徒が身につけているかどうかを評価	定期考査、実験レポート	10%
④知識・理解	化学において習得すべき知識や重要な概念等を生徒が身につけているかどうかを評価	定期考査、小テスト、	40%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	8	第1章 物質の構成 物質の成分と構成元素 原子の構造と元素の周期表 化学結合	既習内容(1年次)の復習	○	○	○	○
	5							
	6							
		1	中間考査		○		○	
	7	12	第2章 物質の変化 物質と化学反応式 酸と塩基 酸化還元反応	既習内容(1年次)の復習	○	○	○	○
		1	期末考査		○		○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	16	総復習	大学入学共通テスト対策等		○		○
	9	1	中間考査			○		○
	10	14	総復習	大学入学共通テスト対策等		○		○
	11							
	12	1	期末考査			○		○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	16	総復習	大学入学共通テスト対策等		○		○
	2							
	3							

4 その他

毎時間、きちんとノートをとること。配られるプリント類はきちんと整理すること。計算問題・課題等は必ず自力で解くこと。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型 (文型・理型)
理科	生物	5	3	理型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生物や生命現象について、興味や関心を高める。 2. 生物学的に探究する能力と態度を育てる。 3. 基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。 4. 自然環境を保全することの大切さを理解させる。
使用教科書 副教材等	教科書：数研出版 改訂版 生物 (生物/310) 副教材：数研出版 リードα生物 第一学習社 八訂版 スクエア最新図説生物 neo

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	生物や生命現象について、興味や関心をもち、生物学的事象の考察に積極的に活用し、科学的論拠に基づいて判断しようとする。	授業態度 課題提出状況	20%
②思考・判断 ・表現	生物についての基本的な概念や原理・法則などの習得や活用を通して、科学的な見方や考え方を身につけている。問題解決に当たり、いろいろな角度や観点から考察し科学的な考え方を念頭に置いて問題を分析・整理するようにしている。	定期テスト 小テスト パフォーマンス課題	30%
③観察・実験の 技能	事象を科学的に考察し表現・処理する仕方や推論の方法を身につけ、問題を手際よく解決する技能を身につけている。	実験レポート パフォーマンス課題	20%
④知識・理解	生物における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身につけている。	定期考査 小テスト	30%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	10	代謝 呼吸 光合成 窒素同化	呼吸によって有機物からエネルギーが取り出される仕組みを理解させる。 光合成によって、光エネルギーを用いて有機物がつくられる仕組みを理解させる。 窒素同化について理解させる。	○	○	○	○
			5	15	遺伝情報の発現 遺伝情報とその発現 遺伝子の発現調節 バイオテクノロジー	DNA の複製の仕組み、遺伝子の発現の仕組み及び遺伝情報の変化を理解させる。 遺伝子の発現が調整されていること及びその仕組みの概要を理解させる。 遺伝子を扱った技術について、その原理と有用性を理解させる。	○	○
	6	1	中間考査			○		○
		20	有性生殖 減数分裂と受精 遺伝子と染色体	減数分裂による遺伝子の分配と受精により多様な遺伝的組み合わせが生じることを理解させる。 遺伝子の連鎖と組換えについて理解させる。	○	○	○	○
	7	10	動物の発生 配偶子形成と受精	配偶子形成と受精の過程について理解させる。	○	○	○	○

		1	期末考査			○		○
		5	初期発生の過程	卵割から器官分化の始まりまでの過程について理解させる。	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	
第2学期	8	7	細胞の分化と形態形成	細胞の分化と形態形成の仕組みを理解させる。	○	○	○	○	
		9	12	植物の発生 配偶子形成と受精、胚発生 植物の器官の分化	配偶子形成と受精及び胚発生の過程について理解させる。 被子植物の器官の分化の過程について理解させる。	○	○	○	○
	8			動物の反応と行動 刺激の受容と反応 動物の行動動物の行動	外界の刺激を受容し、神経系を介して、反応する仕組みを理解させる。 刺激に対する反応としての動物個体の行動を理解させる。	○	○	○	○
				8	植物の環境応答 植物の環境応答	植物が環境変化に反応する仕組みを理解させる。	○	○	○
	10	1	中間考査			○		○	
		18	個体群と生物群集 個体群 生物群集 生態系 生態系の物質生産 生態系と生物多様性	個体群とその変動について理解させる。 生物群集の成り立ちについて理解させる。 生態系における物質生産とエネルギー効率について理解させる。 生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解させ、生物多様性の重要性を認識させる。	○	○	○	○	
	11		10	生物の進化の仕組み 生命の起源と生物の変遷 進化の仕組み	生命の起源と生物進化の道筋について理解させる。 生物進化がどのようにして起こるのかを理解させる。	○	○	○	○
				12	7	生物の系統 生物の系統	生物はその系統に基づいて分類できることを理解させる。	○	○
	1	期末考査					○		○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	40	共通テスト試験対策	学習の総復習として理解不十分なところを理解させる。	○	○	○	○
	2		2次試験対策					
	3		1	学年末考査		○		○

4 その他

--

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
理科	生物基礎演習	2	3	文型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 生物や生物現象について、興味や関心を高める。 2. 生物学的に探究する能力と態度を育てる。 3. 基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。 4. 自然環境を保全することの大切さを理解させる。
使用教科書 副教材等	教科書：数研出版 改訂版生物基礎(生基/316) 副教材：浜島書店 つかむ生物基礎 数研出版 リードlightノート生物基礎

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	生物や生命現象について、興味や関心をもち、生物学的事象の考察に積極的に活用し、科学的論拠に基づいて判断しようとする。	授業態度 課題提出状況	20%
②思考・判断 ・表現	生物についての基本的な概念や原理・法則などの習得や活用を通して、科学的な見方や考え方を身につけている。問題解決に当たり、いろいろな角度や観点から考察し科学的な考え方を念頭に置いて問題を分析・整理するようにしている。	定期考査 実験レポート	20%
③観察・実験の 技能	事象を科学的に考察し表現・処理する仕方や推論の方法を身につけ、問題を手際よく解決する技能を身につけている。	授業態度 実験技術 実験レポート	20%
④知識・理解	生物における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身につけている。	定期考査	40%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4 5	4	植生の多様性と分布	陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解させる。 気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解させる。	○	○	○	○
			植生と遷移					
		気候とバイオーム						
	6 7	8	生態系とその保全	既習内容(2年次)の復習	○	○	○	○
		1	生態系のバランスと保全					
		1	中間考査					
		5	生物の特徴					
7	6	生物の共通性と多様性	既習内容(2年次)の復習	○	○	○	○	
		細胞とエネルギー						
7	6	遺伝子とそのはたらき	既習内容(2年次)の復習	○	○	○	○	
		遺伝情報とDNA						
7	6	遺伝情報の分配	既習内容(2年次)の復習	○	○	○	○	
		遺伝情報とタンパク質の合成						
7	1	期末考査	既習内容(2年次)の復習	○	○	○	○	
		期末考査						

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	5	生物の体内環境	既習内容(2年次)の復習	○	○	○	○
	9		体内環境 体内環境維持のしくみ					
		5	問題演習	総復習	○	○	○	○
	10	1	中間考査			○		○
	11	12	問題演習	総復習	○	○	○	○
	12	1	期末考査			○		○
		4	共通テスト試験対策等	総復習	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	7	共通テスト試験対策等	総復習	○	○	○	○
	2	1	学年末考査			○		○
	3	9	今年度のまとめ					

4 その他

--

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型 (文型・理型)
理科	生物基礎演習	2	3	体育

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>1. 生物や生物現象について、興味や関心を高める。</p> <p>2. 生物学的に探究する能力と態度を育てる。</p> <p>3. 基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。</p> <p>4. 自然環境を保全することの大切さを理解させる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：数研出版 改訂版生物基礎 (生基/316)</p> <p>副教材：浜島書店 つかむ生物基礎 数研出版 リードlightノート生物基礎</p>

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	生物や生命現象について、興味や関心をもち、生物学的事象の考察に積極的に活用し、科学的論拠に基づいて判断しようとする。	授業態度 課題提出状況	20%
②思考・判断 ・表現	生物についての基本的な概念や原理・法則などの習得や活用を通して、科学的な見方や考え方を身につけている。問題解決に当たり、いろいろな角度や観点から考察し科学的な考え方を念頭に置いて問題を分析・整理するようにしている。	定期考査 実験レポート	20%
③観察・実験の 技能	事象を科学的に考察し表現・処理する仕方や推論の方法を身につけ、問題を手際よく解決する技能を身につけている。	授業態度 実験技術 実験レポート	20%
④知識・理解	生物における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身につけている。	定期考査	40%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	8	生態系とその保全 生態系のバランスと保全	生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識させる。	○	○	○	○
	5	1	中間考査			○		○
	6	5	生物の特徴 生物の共通性と多様性 細胞とエネルギー	既習内容 (2年次) の復習	○	○	○	○
	7	6	遺伝子とのはたらき 遺伝情報と DNA 遺伝情報の分配 遺伝情報とタンパク質の合成	既習内容 (2年次) の復習	○	○	○	○
		1	期末考査			○		○
		5	生物の体内環境 体内環境 体内環境維持のしくみ	既習内容 (2年次) の復習	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	4	植生の多様性と分布	既習内容 (2年次) の復習	○	○	○	○
	9		植生と遷移 気候とバイオーム					
	10	5	問題演習	総復習	○	○	○	○
	11	1	中間考査			○		○
	12	12	問題演習	総復習	○	○	○	○
	12	1	期末考査			○		○
		4	共通テスト試験対策等	総復習	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	7	共通テスト試験対策等	総復習	○	○	○	○
	2	1	学年末考査			○		○
	3	9	今年度のまとめ					

4 その他

<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査・小テスト・提出物（課題・実験レポート）・授業態度等を総合的に判断して評価します。 ・集中して授業を受け、その日に習った内容は問題集を積極的に活用し復習するようにしましょう。 ・計算問題や課題等は必ず自力で解くようにしましょう。 ・授業進度によって、扱う単元に多少の変更があります。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
理科	地学基礎演習	2	3	文型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。 ・観察、実験、実習等、様々な場面で主体的・対話的で深い学びを行うことで、より良く生きる力や、探究する能力・姿勢を育み、持続可能な社会の担い手を育成する。 ・日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境への関心を高める。
使用教科書 副教材等	教科書：啓林館「地学基礎」 副教材：第一学習社「セミナー地学基礎」 実教出版「ベストフィット地学基礎 3rd Edition」 第一学習社「十訂版 スクエア 最新図説地学」

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	地学の学習内容に関心を持ち、自ら課題に取り組もうとする意欲や態度を生徒が身につけているかどうかを評価	授業内成果物 レポート 定期考査	25
②思考・判断 ・表現	地学の知識・技能を活用して課題を解決すること等のために必要な思考力・判断力・表現力等を生徒が身につけているかどうかを評価	授業内成果物 レポート 定期考査	25
③観察・実験の 技能	地学において、習得すべき技能を生徒が身につけているかどうかを評価	授業内成果物 レポート 定期考査	25
④知識・理解	地学において、習得すべき知識や重要な概念等を生徒が身につけているかどうかを評価	授業内成果物 レポート 定期考査	25

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	25	既習事項の復習・演習等	既習事項を確認し、基礎学力の定着を図る。	○	○	○	○
	5		第1部 固体地球とその変動					
	6		第1章 地球 第2章 活動する地球					
	7		第2部 移り変わる地球 第1章 地球史の読み方 第2章 地球と生命の進化					
			第3部 大気と海洋 第1章 大気の構造 第2章 太陽放射と大気・海洋の運動 第3章 日本の天気					

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	
第2学期	8	10	第4部 宇宙の構成 第1章 太陽系と太陽 第2章 恒星としての太陽の進化 第3章 銀河系と宇宙	入試等の試験に向けての実力を養成する。	○	○	○	○	
	9				第5部 自然との共生	○	○	○	○
	10					○	○	○	○
	11		既習事項の演習		○	○	○	○	
	12				○	○	○	○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	15	既習事項の演習	入試等の試験に向けての実力を養成する。	○	○	○	○
	2							
	3							

4 その他

現象や物体を観察し、考えることで、疑問を感じ、自ら問いを立てることができます。自分の疑問を出発点とした主体的な学習を心がけましょう。

授業では、共通テストに向けて、基礎的な知識を中心に復習していきます。家庭での2年次の授業解説動画を基本とした予習・授業・副教材を使用した復習を合わせて行うようにしてください。

様式7

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		3	1	普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	運動の合理的, 計画的な実践を通して, 知識を深めるとともに技能を高め, 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし, 自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て, 公正, 協力, 責任, 参画などに対する意欲を高め, 健康・安全を確保して, 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
使用教科書 副教材等	授業用個人シート 教科書;現代高等保健体育(大修館書店)…体育理論で使用 副教材;ステップアップ高校スポーツ 2023(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的, 計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに, 目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて, 課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに, それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう, 運動の合理的, 計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	曜日別選択制授業(通年で1種目選択) A種目・B種目・C種目 体育理論 単元1「スポーツの発祥と発展」 第1・2・3章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
	曜日別選択制授業(通年で1種目選択) A種目・B種目・C種目	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
	曜日別選択制授業(通年で1種目選択) A種目・B種目・C種目 体育理論 単元1「スポーツの発祥と発展」 第4・5・6章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	4月「体づくり」6時間 曜日別選択制授業(通年で1種目選択)	36
	5	①A種目…器械, 陸上, ダンス ②B種目…ゴール型(バスケ, ハンド, サッカー, アルティメット), 武道(柔道, 剣道) ③C種目…ネット型(卓球, バドミントン, バレー), ベースボール型(ソフト), 武道(柔道, 剣道)	
	6	※①～③は週の最初の授業日を①とし, 以降を②③とする。 ※「体育理論」は6月に各曜日で1時間ずつ実施する。	
	7	1 スポーツの始まりと変遷 2 文化としてのスポーツ 3 オリンピックとパラリンピックの意義 パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	
2 学 期	8	8月に「体づくり」2 時間実施 曜日別選択制授業 A種目=器械, 陸上, ダンス B種目=バスケ, ハンド, サッカー, アルティメット, 柔道, 剣道 C種目=卓球, バド, バレー, ソフト, 柔道, 剣道 パフォーマンステスト2:自主挑戦課題	42
	9		
	10		
	11		
	12		
3 学 期	1	1月に「体づくり」2 時間実施 曜日別選択制授業 ※「体育理論」は2月に各曜日で1時間ずつ実施する。 4 スポーツが経済に及ぼす効果 5 スポーツの高潔さとドーピング 6 スポーツと環境 パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	27
	2		
	3		
	3		

5 その他

1年次においては, 体力を高めることに関心を持ち, 各種目の特性や, 技の名称, 課題解決の方法, 試合の仕方などを理解し, 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方法の基礎を学び, スキルの向上を目指してもらいたい。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	1	体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	運動の合理的, 計画的な実践を通して, 知識を深めるとともに技能を高め, 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし, 自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て, 公正, 協力, 責任, 参画などに対する意欲を高め, 健康・安全を確保して, 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
使用教科書 副教材等	授業用個人シート 教科書;現代高等保健体育(大修館書店)…体育理論で使用 副教材;ステップアップ高校スポーツ 2023(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的, 計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに, 目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて, 課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに, それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう, 運動の合理的, 計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	曜日別選択制授業(通年で1種目選択) A種目・B種目・C種目 体育理論 単元1「スポーツの発祥と発展」 第1・2・3章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	曜日別選択制授業(通年で1種目選択) A種目・B種目・C種目	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	曜日別選択制授業(通年で1種目選択) A種目・B種目・C種目 体育理論 単元1「スポーツの発祥と発展」 第4・5・6章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	4月「体づくり」6時間 曜日別選択制授業(通年で1種目選択)	24
	5	①A種目…器械, 陸上, ダンス ②B種目…ゴール型(バスケ, ハンド, サッカー, アルティメット), 武道(柔道, 剣道) ③C種目…ネット型(卓球, バドミントン, バレー), ベースボール型(ソフト), 武道(柔道, 剣道)	
	6	※①～③は週の最初の授業日を①とし, 以降を②③とする。 ※「体育理論」は6月に各曜日で1時間ずつ実施する。	
	7	1 スポーツの始まりと変遷 2 文化としてのスポーツ 3 オリンピックとパラリンピックの意義 パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	
2 学 期	8	8月に「体づくり」2 時間実施 曜日別選択制授業	28
	9	A種目=器械, 陸上, ダンス B種目=バスケ, ハンド, サッカー, アルティメット, 柔道, 剣道 C種目=卓球, バド, バレー, ソフト, 柔道, 剣道	
	10	 パフォーマンステスト 2:自主挑戦課題	
	11		
3 学 期	1	1月に「体づくり」2 時間実施 曜日別選択制授業	18
	2	※「体育理論」は2月に各曜日で1時間ずつ実施する。 4 スポーツが経済に及ぼす効果 5 スポーツの高潔さとドーピング	
	3	6 スポーツと環境 パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	

5 その他

1年次においては, 体力を高めることに関心を持ち, 各種目の特性や, 技の名称, 課題解決の方法, 試合の仕方などを理解し, 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方法の基礎を学び, スキルの向上を目指してもらいたい。

様式7

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	保健	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		1	1	全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。
使用教科書 副教材等	教科書;現代高等保健体育(大修館書店) 副教材;現代高等保健体育ノート(大修館書店), 授業用プリント

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること等を理解している。 ・安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。交通事故防止には、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること等を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	1 単元 『現代社会と健康』 第1・2・3・4・5章 2 単元 『安全な社会生活』 第4・5・6章	期末考査	期末考査 パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	1 単元 『現代社会と健康』 第6・7・8・9・10・11章 2 単元 『安全な社会生活』 第1・2・3章	期末考査	期末考査 パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	1 単元 『現代社会と健康』 第12・13・14・15・16・17・18・19章	期末考査	期末考査 パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	1 単元 『現代社会と健康』 第1章 健康の考え方と成り立ち	10
	5	第2章 私たちの健康のすがた 第3章 生活習慣病の予防と回復	
	6	第4章 がんの原因と予防 第5章 がんの治療と回復	
	7	2単元 『安全な社会生活』 第4章 応急手当の意義とその基本 第5章 日常的な応急手当 第6章 心肺蘇生法	
	パフォーマンステスト1:自主挑戦課題		
	----- 1学期期末考査		

2 学 期	8	1 単元 『現代社会と健康』 第6章 運動と健康	13
	9	第7章 食事と健康 第8章 休養・睡眠と健康	
	10	第9章 喫煙と健康 第10章 飲酒と健康 第11章 薬物乱用と健康	
	11	2単元 『安全な社会生活』 第1章 事故の現状と発生要因 第2章 安全な社会の形成	
	12	第3章 交通における安全	
	パフォーマンステスト2:自主挑戦課題		
	----- 2学期期末考査		
3 学 期	1	1 単元 『現代社会と健康』 第13章 精神疾患の予防	12
	2	第14章 精神疾患からの回復 第15章 現代の感染症 第16章 感染症の予防	
	3	第17章 性感染症・エイズとその予防 第18章 健康に関する意思決定・行動選択 第19章 健康に関する環境づくり	
	パフォーマンステスト3:自主挑戦課題		
	----- 学年末考査		

5 その他

--

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	スポーツ概論	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		1	1	体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主體的、合理的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書:大修館「基礎から学ぶ スポーツ概論」 副教材:授業用プリント

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの技術と技能について、正しく理解している。 ・運動やスポーツ技能の上達過程について、正しく理解している。 ・運動やスポーツの技能と体力の関係について、正しく理解している。 ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、正しく理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、比較、分類、分析などを通して、判断し、説明している。 ・能力に適した効果的な体カトレーニングの仕方について考え、合理的な計画を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、事例などを用いたディスカッションや課題学習などの活動を通して、学習に主体的に取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	「基礎から学ぶ スポーツ概論」 第2章 スポーツの競技力の向上 1競技力向上に必要な基礎知識 2競技力向上をさせる練習方法と計画	筆記テスト 授業観察	筆記テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	「基礎から学ぶ スポーツ概論」 第2章 スポーツの競技力の向上 3 メンタルトレーニングについて知ろう 4 競技力向上に向けた指導体制や情報戦略	筆記テスト 授業観察	筆記テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	「基礎から学ぶ スポーツ概論」 第3章 体カトレーニングをやってみよう 1・2 トレーニングについて知ろう	筆記テスト 授業観察	筆記テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	○オリエンテーション ○スポーツの競技力を向上させよう 1 競技力向上に必要な基礎知識を知ろう	12
	5	2 競技力を向上させる練習方法・練習計画を知ろう	
	6		
	7	パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	
2 学 期	8	○スポーツの競技力を向上させよう 3 メンタルトレーニングについて知ろう 4 競技力向上に向けた指導体制や情報戦略について知ろう	14
	9	○体カトレーニングをやってみよう 1 体力向上の科学的基礎について知ろう 2 体カトレーニングの方法を知ろう ・筋力, 持久力	
	10		
	11	パフォーマンステスト2:自主挑戦課題	
3 学 期	1	○体カトレーニングをやってみよう 2 体カトレーニングの方法を知ろう ・調整力, 柔軟性	9
	2	・計画表を作ろう ○年間のまとめ	
	3	パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	

5 その他

体育・スポーツに関わる者に必要な競技力向上についてテキストを中心に理論学習を深め、基礎知識・練習方法の確実な定着をはかり、練習計画をマネジメントできる力をつけてもらいたい。また、実際にトレーニングを行いながら計画を振り返り、微調整していく中で、効果的なトレーニングについて理解し、各自の専門性に生かしてもらいたい。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	キャリア探究基礎	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	1	体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、地域社会を担う生き方や働き方を考えながら、地域の活性化に向けた課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)地域に関わる様々な事象について探究するために必要な基本的な知識及び技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)多角的、複合的に事象を捉え、地域の活性化に向けた課題を解決するための基本的な力を養う。</p> <p>(3)地域に関わる様々な事象や地域の活性化に向けた課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	探究の過程において、地域に関わる課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。	多角的、複合的に事象を捉え、地域の活性化に向けた課題について、自ら課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	探究の過程を通して、地域に関わる様々な事象や地域の活性化に向けた課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	・探究活動 ・キャリア講義	・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・授業中の行動観察 ・パフォーマンス課題	・課題提出等 ・パフォーマンス課題
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	・探究活動	・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・授業中の行動観察 ・パフォーマンス課題	・課題提出等 ・パフォーマンス課題
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	・探究活動 ・プレゼンテーション	・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・授業中の行動観察 ・パフォーマンス課題	課題提出等 ・パフォーマンス課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	○オリエンテーション ○キャリアプランの作成 ○キャリア講義	24
	5	外部講師(プロスポーツ選手、トップレベルの指導者、スポーツトレーナー、スポーツ用品企業の経営者、スポーツ振興団体の職員等)の講義	
	6	○探究基礎の習得 ①課題の設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現⑤振り返り	
	7	○探究活動見学 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">パフォーマンス課題1:自主挑戦課題</div>	
2 学期	8	○探究活動Ⅰ 共通テーマ【地域とスポーツ】	28
	9	○探究活動Ⅱ 9つの学習テーマから1つを選択し、探究活動を行う	
	10	○探究活動Ⅲ 9つの学習テーマから1つを選択し、探究活動を行う	
	11	○探究活動Ⅲ 9つの学習テーマから1つを選択し、探究活動を行う <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">パフォーマンス課題2:自主挑戦課題</div>	
	12		
3 学期	1	○探究活動Ⅲ 9つの学習テーマから1つを選択し、探究活動を行う	18
	2	○ポスター発表 →1年間で学習した内容について成果をまとめ、発表を行う。	
	3	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">パフォーマンス課題3:ポスター課題</div>	

5 その他

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	専攻実技	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	1	体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>各種目の専門性の向上、及び体力の向上を目指し、高度な知識と運動技能を修得し競技力向上や体力の向上を図るとともに、心身共に健全で生涯にわたりスポーツを愛し、スポーツの振興と発展に寄与する人材を育成する。</p> <p>(1)各種目の専門性の向上、及び体力の向上方法についての知識を理解するとともに、競技力向上及び体力の向上をさせるために必要な基礎的な技能を身につけるようにする。</p> <p>(2)チームや個人の課題を発見し、思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、スポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	ステップアップ高校スポーツ、基礎から学ぶスポーツ概論、VTR教材など

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	各種目の専門性の向上、及び体力の向上方法についての知識を理解するとともに、競技力向上及び体力の向上をさせるために必要な基礎的な技能を身につけている。	チームや個人の課題を発見し、思考し判断するとともに他者に伝える力を身に付けている。	公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、スポーツの推進及び発展に寄与する態度を身につけている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション、種目選択 ・個人の目標設定【長期・中期・短期】 ・各種目や体力の向上に応じた基礎的な練習 ・1学期の取組への振り返り【個人】 	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンス テスト	課題提出 パフォーマンス テスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目または体力の向上に応じた実践的及び基礎的な練習 ・2学期の取組への振り返り【個人】 	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンス テスト	課題提出 パフォーマンス テスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目の競技力向上や体力の向上に向けての取組 ・1年間の各種目の取組への振り返り 	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンス テスト	課題提出 パフォーマンス テスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	○オリエンテーション、種目選択 ○個人の目標設定【長期・中期・短期】	24
	5	○各種目や体力の向上に応じた基礎的な練習 ○講習会(スポーツ栄養学)	
	6	○チームや個人の課題を発見し、改善するための練習	
	7	○1学期の取組への振り返り【個人】 パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	
2 学 期	8	○各種目または体力の向上に応じた基礎的な練習	30
	9	○各種目や体力の向上の基礎的な技術、コーチング方法、審判法、コンディショニングづくり等の知識の習得	
	10	○コーチング方法、審判法、コンディショニングづくり等の実践 ○講習会(フィジカルトレーニング)	
	11	○チームや個人の課題改善に対する練習	
	12	○2学期の取組への振り返り【個人】 パフォーマンステスト2:自主挑戦課題	
3 学 期	1	○各種目の競技力向上や体力の向上に向けての取組 ○講習会(メディカルケア)	16
	2	○次年度へ向けて競技力向上や体力の向上を図るための練習方法の計画	
	3	○1年間の各種目の取組への振り返り【個人・チーム】 パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	

5 その他

1年次においては、競技力向上や体力の向上のための課題解決方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方法の基礎を学び、スキルの向上を目指してもらいたい。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	運動の合理的, 計画的な実践を通して, 知識を深めるとともに技能を高め, 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし, 自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て, 公正, 協力, 責任, 参画などに対する意欲を高め, 健康・安全を確保して, 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
使用教科書 副教材等	授業用個人シート 教科書;現代高等保健体育(大修館書店)…体育理論で使用 副教材;ステップアップ高校スポーツ 2022(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的, 計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに, 目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて, 課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに, それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう, 運動の合理的, 計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	曜日別選択制授業(通年で1種目選択) A種目・B種目・C種目 体育理論 単元2「運動・スポーツの学び方」 第1・2・3章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	曜日別選択制授業(通年で1種目選択) A種目・B種目・C種目 体育理論 単元2「運動・スポーツの学び方」 第4・5章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	曜日別選択制授業(通年で1種目選択) A種目・B種目・C種目 体育理論 単元2「運動・スポーツの学び方」 第6章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
第1学期	4	4月に「体づくり」3時間実施 前期曜日別選択制授業…前期は4月～10月中旬までとする	25
	5	①A種目…器械, 陸上, 柔道, 剣道, ダンス ②B種目…球技	
	6	※「体育理論」は4月に1時間, 6月に2時間実施する。	
	7	1 スポーツにおける技能と体力 2 スポーツにおける技術と戦術 3 技能の上達課程と練習 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">パフォーマンステスト1:自主挑戦課題</div>	
第2学期	8	8月に「体づくり」2時間実施 前期曜日別選択制授業, 後期種目選択(AB種目から1つ選択)	28
	9	…後期は10月中旬～3月末までとする	
	10	※「体育理論」は10月に2時間実施する。 4 効果的な動きのメカニズム	
	11	5 体カトレーニング	
	12	<div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">パフォーマンステスト2:自主挑戦課題</div>	
第3学期	1	1月に「体づくり」2時間実施 後期種目選択(AB種目から1つ選択) …後期は10月中旬～3月末までとする	17
	2	※「体育理論」は2月に1時間実施する。	
	3	6 運動やスポーツでの安全の確保 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">パフォーマンステスト3:自主挑戦課題</div>	

5 その他

2年次における体育では、体を動かすことが、情緒面や知的な発達を促し、集団的活動や身体表現などを通じてコミュニケーション能力を育成することや、筋道を立てて練習や作戦を考え、改善の方法などを互いに話し合う活動などを通じて論理的思考力をはぐくむことを目標としている。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		3	2	体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
使用教科書 副教材等	授業用個人シート 教科書;現代高等保健体育(大修館書店)…体育理論で使用 副教材;ステップアップ高校スポーツ 2022(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	曜日別選択制授業(通年で1種目選択) A種目・B種目・C種目 体育理論 単元2「運動・スポーツの学び方」 第1・2・3章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学期	曜日別選択制授業(通年で1種目選択) A種目・B種目・C種目	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学期	曜日別選択制授業(通年で1種目選択) A種目・B種目・C種目 体育理論 単元2「運動・スポーツの学び方」 第4・5・6章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	「前期」曜日別授業…前期は4月から10月中旬まで ①A種目＝器械、陸上、柔道、剣道、ダンス	36
	5	②B種目＝球技(ゴール型、ネット型) ※A種目は1時間、B種目は2時間連続授業	
	6	※「体育理論」は4月に1時間、6月に2時間実施する。	
	7	1 スポーツにおける技能と体力 2 スポーツにおける技術と戦術 3 技能の上達課程と練習	
		パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	
2 学 期	8	8月に「体づくり」2時間実施 「前期」曜日別授業…前期は4月から10月中旬まで	40
	9	「後期」曜日別授業…後期は10月中旬から3月末まで A種目＝前期選択種目以外を選択	
	10	B種目＝球技(ゴール型、ネット型、ベースボール型)前期選択種目以外を選択	
	11	※「体育理論」は10月に2時間実施する。 4 技能の上達過程と練習	
	12	5 体カトレーニング	
		パフォーマンステスト2:自主挑戦課題	
3 学 期	1	1月に「体づくり」2時間実施 「後期」曜日別授業…後期は10月中旬から3月末まで	29
	2	A種目＝前期選択種目以外を選択 B種目＝球技(ゴール型、ネット型、ベースボール型)前期選択種目以外を選択	
	3	※「体育理論」は2月に1時間実施する。 6 運動やスポーツでの安全の確保	
		パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	

5 その他

2年次における体育では、体を動かすことが、情緒面や知的な発達を促し、集団的活動や身体表現などを通じてコミュニケーション能力を育成することや、筋道を立てて練習や作戦を考え、改善の方法などを互いに話し合う活動などを通じて論理的思考力をはぐくむことを目標としている。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	保健	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		1	2	全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	生涯の各段階において健康についての課題があり,自らこれを適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。社会生活における健康の保持増進には,環境や食品,労働などが深くかかわっていることから,環境と健康,環境と食品の保健,労働と健康にかかわる活動や対策が重要であることについて理解できるようにする。
使用教科書 副教材等	教科書;現代高等保健体育(大修館書店) 副教材;現代高等保健体育ノート(大修館書店),授業用プリント

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生涯を通じる健康について,生涯の各段階における健康課題の解決に役立つ自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用のための基礎的な事項を理解している。 健康を支える環境づくりについて,自他や社会の保持増進に関する課題の解決に役立つ環境と健康,食品と健康,保健・医療制度及び地域の保健・医療機関,様々な保健活動や社会的対策,健康に関する環境づくりと社会参加についての基礎的な事項を理解している。	生涯を通じる健康について,生涯の各段階における健康課題の解決を目指して,知識を活用した学習活動などにより,総合的に考え,判断し,それらを表している。 健康を支える環境づくりについて,社会生活における健康の保持増進に関わる課題の解決を目指して,知識を活用した学習活動などにより,総合的に考え,判断し,それらを表している。	生涯を通じる健康について,生涯の各段階における健康課題への自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用が重要であることに関心を持ち,学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 健康を支える環境づくりについて,社会生活における健康の保持増進には,環境と健康,食品と健康,保健・医療制度及び地域の保健・医療機関,様々な保健活動や社会的対策,健康に関する環境づくりと社会参加が重要であることに関心を持ち,学習活動に意欲的に取り組もうとしている。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	3単元『生涯を通じる健康』 第1・2・3・4・5・6・7章	期末考査	パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
		100点	100点	100点
2	3単元『生涯を通じる健康』 第8・9・10章	期末考査	パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	4単元『健康を支える環境づくり』 第1・2・3・4章	100点	100点	100点

3	4単元『健康を支える環境づくり』 第5・6・7・8・9・10・11章	期末考査	パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
		100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	3単元『生涯を通じる健康』 第1章 ライフステージと健康	10
	5	第2章 思春期と健康 第3章 性意識と性行動の選択 第4章 妊娠・出産と健康	
	6	第5章 避妊法と人工妊娠中絶 第6章 結婚生活と健康	
	7	第7章 中高年期と健康 <div style="text-align: right;">パフォーマンステスト1:自主挑戦課題 1学期期末考査</div>	
2 学期	8	3単元『生涯を通じる健康』 第8章 働くことと健康	13
	9	第9章 労働災害と健康 第10章 健康的な職業生活	
	10	4単元『健康を支える環境づくり』 第1章 大気汚染と健康 第2章 水質汚濁, 土壌汚染と健康	
	11	第3章 環境と健康にかかわる対策 第4章 ごみの処理と上下水道の整備 <div style="text-align: right;">パフォーマンステスト2:自主挑戦課題 2学期期末考査</div>	
3 学期	1	4単元『健康を支える環境づくり』 第5章 食品の安全性 第6章 食品衛生にかかわる活動 第7章 保健サービスとその活用	12
	2	第8章 医療サービスとその活用 第9章 医薬品の制度とその活用 第10章 さまざまな保健活動や社会的対策	
	3	第11章 健康に関する環境づくりと社会参加 <div style="text-align: right;">パフォーマンステスト3:自主挑戦課題 学年末考査</div>	

5 その他

--

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	スポーツ総合演習	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		1	2	体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>スポーツの専門的な知識や高度な技能の総合的な活用を目指した課題研究を通して、生涯を通じた豊かなスポーツライフの実現及びスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。</p> <p>教科書:大修館書店「基礎から学ぶ スポーツ概論」 副教材:授業用プリント(学習シート)</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:大修館書店「基礎から学ぶスポーツ概論」 副教材:授業用プリント(学習シート)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解しているとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けている。</p>	<p>スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、それらを他者に伝えている</p>	<p>生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組もうとしている</p>
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションスキルの向上 ・スポーツライフのマネジメントについて考える 	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツライフのマネジメントについて考える ・スポーツについて考える 	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツについて考える ・年間のまとめ 	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
第1学期	4	○オリエンテーション ○スポーツライフのマネジメントを考えよう	13
	5	1 自分の体をマネジメントしよう ・合理的なウォーミングアップ, クーリングダウンメニューを作成	
	6	・スポーツ場面での怪我の応急処置実習(テーピング含む)	
	7	2 栄養でパフォーマンスを高めよう ・競技種目にあつた食事献立を作成 ・鍛錬期, 試合前の食事献立を作成	
第2学期	8	○スポーツについて考えよう ・スポーツが社会に与える様々な影響について考えよう	14
	9	・現代スポーツの抱える問題点を見つけよう(新聞・専門誌などから)	
	10	・スポーツの歴史(起源)を探り, まとめよう	
	11		
	12		
第3学期	1	○スポーツについて考えよう ・スポーツの果たすべき役割(社会貢献)について考えよう	8
	2	・スポーツと経済について調べ, まとめよう	
	3	○年間のまとめ	

5 その他

安全や栄養など, 体育・スポーツにおける自己マネジメントについての基礎知識の確実な定着をはかり, それらを自分で調整, 改善できる力をつけてもらいたい。また, スポーツの魅力や問題点を踏まえ, 現代スポーツの可能性を探り, 将来, 社会貢献できる資質や能力を培ってもらいたい。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	スポーツ概論	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		1	2	体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、合理的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書:大修館書店「基礎から学ぶ スポーツ概論」 副教材:授業用プリント

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に留意した運動やスポーツの行い方について、正しく理解している。 ・スポーツ栄養の基礎知識について、正しく理解している。 ・スポーツの歴史や魅力について、正しく理解している。 ・現代スポーツの問題点やあり方、社会における役割などについて、正しく理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な運動実施の仕方について、比較、分類、分析を通して、判断し、説明している。 ・種目の特性に応じて、スポーツ選手に必要な食事(栄養素)を考え、説明している。 ・スポーツの歴史を踏まえ、これからのスポーツのあり方について自分なりに考え、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの安全な実施の仕方やスポーツ栄養について、事例などを用いたディスカッションや課題学習などの活動を通して、学習に主体的に取り組もうとしている。 ・スポーツの歴史や魅力、今後のあり方などについて、ディベートや調査の活動を通して、課題解決に向けて意欲的、主体的に取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	「基礎から学ぶ スポーツ概論」 第4章スポーツライフのマネジメントを考えよう 1自分の体をマネジメントしよう 2栄養でパフォーマンスを高めよう	筆記テスト 授業観察	筆記テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	「基礎から学ぶ スポーツ概論」 第1章 スポーツについて考えよう 1スポーツの魅力について考えよう 2スポーツのこれからとこれまでを考えよう	筆記テスト 授業観察	筆記テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	「基礎から学ぶ スポーツ概論」 第1章 スポーツについて考えよう 3現代スポーツの問題点を考えよう 4スポーツと社会について考えよう	筆記テスト 授業観察	筆記テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	○オリエンテーション ○スポーツライフのマネジメントを考えよう 1 自分の体をマネジメントしよう	12
	5	2 栄養でパフォーマンスを高めよう	
	6		
	7	パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	
2 学 期	8	○スポーツについて考えよう 1 スポーツの魅力について考えよう 2 スポーツのこれからとこれまでを考えよう	14
	9		
	10	パフォーマンステスト2:自主挑戦課題	
	11		
3 学 期	1	○スポーツについて考えよう 3 現代スポーツの問題点を考えよう 4 スポーツと社会について考えよう	9
	2	○年間のまとめ	
	3	パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	

5 その他

安全や栄養など、体育・スポーツにおける自己マネジメントについての基礎知識の確実な定着をはかり、それらを自分で調整、改善できる力をつけてもらいたい。また、スポーツの魅力や問題点を踏まえ、現代スポーツの可能性を探り、将来、社会貢献できる資質や能力を培ってもらいたい。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	専攻実技	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		3	2	体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>各種目の専門性の向上、及び体力の向上を目指し、高度な知識と運動技能を修得し競技力向上や体力の向上を図るとともに、心身共に健全で生涯にわたりスポーツを愛し、スポーツの振興と発展に寄与する人材を育成する。</p> <p>(1)各種目の専門性の向上、及び体力の向上方法についての知識を理解するとともに、競技力向上及び体力の向上をさせるために必要な発展的な技能を身につけるようにする。</p> <p>(2)チームや個人の課題を発見し、思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、スポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	ステップアップ高校スポーツ, 基礎から学ぶスポーツ概論, VTR教材など

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	各種目の専門性の向上、及び体力の向上方法についての知識を理解するとともに、競技力向上及び体力の向上をさせるために必要な発展的な技能を身につける。	チームや個人の課題を発見し、思考し判断するとともに他者に伝える力を身につける。	公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、スポーツの推進及び発展に寄与する態度を身につける。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション、種目選択 ・個人の目標設定【長期・中期・短期】 ・各種目や体力の向上に応じた発展的な練習 ・1学期の取組への振り返り【個人】 	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目または体力の向上に応じた実践的及び基礎的な練習 ・2学期の取組への振り返り【個人】 	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目の競技力向上や体力の向上に向けての取組 ・1年間の各種目の取組への振り返り 	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	○オリエンテーション、種目選択 ○個人の目標設定【長期・中期・短期】	36
	5	○各種目や体力の向上に応じた基礎的な練習 ○講習会(スポーツ栄養学)	
	6	○チームや個人の課題を発見し、改善するための練習	
	7	○1学期の取組への振り返り【個人】 パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	
2 学 期	8	○各種目または体力の向上に応じた基礎的な練習	42
	9	○各種目や体力の向上の基礎的な技術、コーチング方法、審判法、コンディショニングづくり等の知識の習得	
	10	○コーチング方法、審判法、コンディショニングづくり等の実践 ○講習会(フィジカルトレーニング)	
	11	○チームや個人の課題改善に対する練習	
	12	○2学期の取組への振り返り【個人】 パフォーマンステスト2:自主挑戦課題	
3 学 期	1	○各種目の競技力向上や体力の向上に向けての取組 ○講習会(メディカルケア)	27
	2	○次年度へ向けて競技力向上や体力の向上を図るための練習方法の計画	
	3	○1年間の各種目の取組への振り返り【個人・チーム】 パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	

5 その他

2年次においては、競技力向上や体力の向上のための課題解決方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための発展的な取り組み方法を学び、スキルの向上を目指してもらいたい。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型（文型・理型）
保健体育	体育	2	3	普通

1 学習の到達目標

学習の到達目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書；最新高等保健体育（大修館書店）…体育理論で使用 副教材；各運動のVTR教材・ステップアップ高校スポーツ2021（大修館書店）

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	授業態度・学習ノート	25%
②思考・判断	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	学習ノート	25%
③運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	スキルテスト	25%
④知識・理解	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。	学習ノート 知識・理解度テスト	25%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	21	4月に「体づくり」3時間実施 前期曜日別選択制授業…前期は4月～7月末までとする ①A種目…器械、陸上、柔道、剣道、ダンス ②B種目…球技	生徒一人ひとりが自らの能力・適性や興味・関心などを理解した上で選択種目をおこなう。個人やペアの課題に気付き、改善してより良い動きにするための練習方法やゲームの行い方を工夫する事ができるようになる。	○	○	○	○
	5				○	○	○	○
6	○				○	○	○	
7	○				○	○	○	
		4	※「体育理論」は6月に2時間実施する。 1 日本のスポーツ振興 2 スポーツと環境	・現在にいたるまでの日本のスポーツ振興の流れや、地域におけるスポーツクラブの状況について理解し、説明することができる。 ・スポーツと環境問題について考え、スポーツ場面で環境を保護するために私たちができることについて説明することができる。	○	○		○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8 9 10 11	25	8月に「体づくり」2時間実施 後期種目選択（A B種目から1つ選択） …後期は8月下旬～2月末までとする	生徒一人ひとりが自らの役割を理解し、選択した種目の特性に触れる楽しさを求めて行く中で、仲間と互いに教え合いながらおこなうことができる。毎時間の活動目標に対する評価を読み取り、個人や集団の技能向上に必要な練習計画を立て実施できるようになる。	○	○	○	○
	12	3	※「体育理論」は8、9月に2時間実施する。 3 生涯スポーツの見方・考え方 4 ライフスタイルに応じたスポーツ	・社会の変化にともなうスポーツの役割と楽しみ方の変化を理解し、ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方について説明することができる。 ・ライフスタイルとスポーツのかかわり、自分に合ったスポーツライフの設計のしかたについて理解し、説明することができる。	○	○		○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1 2 3	15	1月に「体づくり」2時間実施 後期種目選択（A B種目から1つ選択） …後期は8月下旬～2月中旬までとする	生涯にわたり豊かなスポーツライフを継続することができるように、1年及び前期を通して学んだ基礎的な知識及び技能をさらに発展させる。日常生活の中に運動を適切に取り入れることの必要性に気付かせる。	○	○	○	○
		2	※「体育理論」は2月に2時間実施する。 5 マイスポートライフの設計 6 マイスポートライフの設計・交流（発表）	・身のまわりの人のスポーツライフについて調査し、結果をまとめ、発表することができる。 ・自分に合ったスポーツライフを設計し、発表することができる。	○	○		○

4 その他

3年次における体育では、生徒同士が主体的にコミュニケーションを深めながら、教え合いや助け合いの活動をする授業を展開することで、課題を解決した際の喜びや作戦が成果に結び付いた時の感動を経験し、結果的に生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する力を育成していくことを目標としている。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型（文型・理型）
保健体育	体育	3	3	体育

1 学習の到達目標

学習の到達目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
使用教科書 副教材等	授業用個人シート 教科書；最新高等保健体育（大修館書店）…体育理論で使用 副教材；ステップアップ高校スポーツ 2021（大修館書店）

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	授業態度・学習ノート	25%
②思考・判断 ・表現	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	学習ノート	25%
③運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	スキルテスト	25%
④知識・理解	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。	学習ノート 知識・理解度テスト	25%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	36	「前期」曜日別授業…前期は4月から10月中旬まで ①A種目＝器械、陸上、柔道、剣道、ダンス ②B種目＝球技（ゴール型、ネット型） ※A種目は1時間、B種目は2時間連続授業	生徒一人ひとりが自らの能力・適性や興味・関心などを理解した上で選択種目をおこなう。個人やペアの課題に気づき、改善してより良い動きにするための練習方法やゲームの行い方を工夫する事ができるようになる。	○	○	○	○
	5							
	6							
	7							

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	40	8月に「体づくり」2時間実施 「前期」曜日別授業…前期は4月から10月中旬まで 「後期」曜日別授業…後期は10月中旬から3月末まで A種目＝前期選択種目以外を選択 B種目＝球技（ゴール型、ネット型、ベースボール型）前期選択種目以外を選択	生徒一人ひとりが自らの役割を理解し選択した種目の特性に触れる楽しさを求めて行く中で、仲間と互いに教え合いながらおこなうことができる。毎時間の活動目標に対する評価を読み取り、個人や集団の技能向上に必要な練習計画を立て実施できるようになる。	○	○	○	○
	9							
	10							
	11							
	12							

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	29	1月に「体づくり」2時間実施 「後期」曜日別授業…後期は10月中旬から3月末まで A種目＝前期選択種目以外を選択 B種目＝球技（ゴール型、ネット型、ベースボール型）前期選択種目以外を選択	生涯にわたり豊かなスポーツライフを継続することができるように、1年及び前期を通して学んだ基礎的な知識及び技能をさらに発展させる。日常生活の中に運動を適切に取り入れることの必要性に気付かせる。	○	○	○	○
	2							
	3							

4 その他

<p>3年次における体育では、生徒同士が主体的にコミュニケーションを深めながら、教え合いや助け合いの活動をする授業を展開することで、課題を解決した際の喜びや作戦が成果に結び付いた時の感動を経験し、結果的に生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する力を育成していくことを目標としている。</p>

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
保健体育	スポーツ概論	1	3	体育

1 学習の到達目標

学習の到達目標	スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、合理的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書：大修館書店「基礎から学ぶ スポーツ概論」 副教材：授業用プリント

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	<ul style="list-style-type: none"> 運動やスポーツの安全な実施の仕方やスポーツ栄養について、事例などを用いたディスカッションや課題学習などの活動を通して、学習に主体的に取り組もうとしている。 スポーツの歴史や魅力、今後のあり方などについて、ディベートや調査の活動を通して、課題解決に向けて意欲的、主体的に取り組もうとしている。 	授業観察 学習シート	30%
②思考・判断 ・表現	<ul style="list-style-type: none"> 安全な運動実施の仕方について、比較、分類、分析を通して、判断し、説明している。 種目の特性に応じて、スポーツ選手に必要な食事(栄養素)を考え、説明している。 スポーツの歴史を踏まえ、これからのスポーツのあり方について自分なりに考え、説明している。 	学習シート レポート	30%
③運動の技能			
④知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 安全に留意した運動やスポーツの行い方について、正しく理解している。 スポーツ栄養の基礎知識について、正しく理解している。 スポーツの歴史や魅力について、正しく理解している。 現代スポーツの問題点やあり方、社会における役割などについて、正しく理解している。 	知識・理解度テスト レポート	40%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	13	○オリエンテーション	・スポーツ参加者の参加動機は、発達段階やライフステージによって多様であることを理解し、指導の目的に応じたグループの編成や適切な練習の選択ができるようになる。	○	○		○
	5		○スポーツ指導者をめざそう					
	6		1 スポーツキャリアと職業について知ろう					
	7		2 指導の場としての学校における体育・スポーツ活動やスポーツイベントについて知ろう					

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	14	○スポーツ指導者をめざそう	・ライフステージ、ライフスタイルによって、技術の習得のみならず、健康の維持、仲間づくり、ストレス発散など多様な参加動機があることに気づき、多様な目的、年齢層を指導する際には、体力や生活の状況を踏まえた指導内容の検討、参加者が継続的に参加できる環境づくりが必要であることを理解する。	○	○		○
	9		3 指導の場としてのスポーツクラブについて知ろう					
	10		4 効果的なスポーツの指導方法を知ろう					
	11							
	12							

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	8	○スポーツについて調べてみよう まとめてみよう	・豊かなスポーツライフを設計していくためには、各ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツの設計の仕方を理解し、ライフスタイルに応じたスポーツのかかわり方、スポーツ振興のための施策と条件等を理解する。	○	○		○
	2							
	3		○年間のまとめ					

4 その他

<p>体育・スポーツにおける自己マネジメントについての基礎知識の確実な定着をはかり、それらを自分で調整、改善できる力をつけてもらいたい。また、スポーツの魅力や問題点を踏まえ、現代スポーツの可能性を探り、将来、社会貢献できるスポーツ指導者としての資質や能力を培ってもらいたい。</p>

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型（文型・理型）
保健体育	スポーツ総合演習	1	3	体育

1 学習の到達目標

学習の到達目標	スポーツの専門的な知識や高度な技能の総合的な活用を目指した課題研究を通して、生涯を通じた豊かなスポーツライフの実現及びスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書：大修館書店「基礎から学ぶ スポーツ概論」 副教材：授業用プリント（学習シート）、体育コース「Achievement Note」

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	・各種レポートや課題設定・研究・調査に主体的、計画的に取り組もうとしている。 ・仲間の研究に対し興味をもち、積極的にアドバイスしようとしている。	授業観察 研究レポート	30%
②思考・判断 ・表現	・設定した課題の解決に向けて収集した資料や情報を、計画的に比較したり、分類したり、分析したり、まとめたりするなどして、分かりやすく判断し、説明している。	レポート プレゼンテーション	30%
③運動の技能			
④知識・理解	・設定した課題の解決に向けて収集した資料や情報を、分かりやすく整理し、その内容（知識）を理解している。 ・仮説の立て方や研究方法について正しく理解している。	レポート 口頭試問	40%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	13	○オリエンテーション	・自らの関心に応じて、テーマを選び、文献研究、実験を通じた仮説検証、調査研究等の課題研究を主体的に行い、豊かなスポーツライフの実現に向けて見通しを立てることができる。	○	○		○
	5		○課題研究の計画を立てよう					
	6		・スポーツ概論の学習分野を基盤に題材（テーマ）を決定					
	7		・仮説を立て、研究方法の見通しをもつ（必要ならアンケート作成）					
			○研究をはじめよう					
			・参考文献、インターネットを活用しよう					
			・インタビュー調査やアンケート調査の方法					

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	14	○研究を深めよう ・中間のまとめプレゼンテーション ・グループによる意見交換 ・研究内容や方法の見直し、追加 ○抄録を作ろう ・抄録とは ・文章の整理、要約の仕方	・自らが課題を設定し、探究することを通して、生涯を通じた豊かなスポーツライフの実現及びスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を身につけることができる。	○	○		○
	9							
	10							
	11							
	12							

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	8	○発表（プレゼン）の準備をしよう ・パワーポイントを用いたプレゼンテーション ○研究発表会の準備をしよう ・役割分担（発表者・司会・タイムキーパー・マイク係など） ・リハーサル	・実習、体験、発表などの課題研究を通して、知識技能の重要性を改めて認識し、情報の分析・評価、論述や熟考、評価などの言語に関する能力を身につける。	○	○		○
	2							
	3							

4 その他

--

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型（文型・理型）
保健体育	専攻実技	3	3	体育

1 学習の到達目標

学習の到達目標	各種の運動の合理的な実践を通して、個人のスポーツの特性を高め、より高度な運動技能及びその理論や審判法を習得するとともに、個人の技能を最高度に発揮して競技できる能力と態度を養うことを目標とする。
使用教科書 副教材等	ステップアップ、基礎から学ぶスポーツ概論、VTR教材など

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①関心・意欲 ・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	授業態度・学習ノート	25%
②思考・判断 ・表現	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	学習ノート	25%
③運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	スキルテスト	25%
④知識・理解	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、審判法、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。	学習ノート 知識・理解度テスト	25%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	39	○オリエンテーション ○個人の目標設定【長期・中期・短期】 ○講習会（スポーツメンタル） ○講習会（スポーツ栄養学） ○各種目に応じた基礎的な練習 ○競技会の運営方法の知識の習得 ○各種目の合理的な技術、コーチング方法、審判法、コンディショニングづくり等への知識の習得 ○1学期の取組への探究活動【個人】	・心と体を一体としてとらえ、スポーツについての専門的な理解及び高度な技能の習得を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して専門的分野についての知識を深める。	○	○	○	○
	5				○	○	○	○
	6				○	○	○	○
	7				○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	4 2	○講習会（フィジカルトレーニング） ○各種目に応じた実践的な練習 ○競技会の運営についての企画 ○各種目の合理的な技術，コーチング方法，審判法，コンディショニングづくり等の実践	・各専門分野の実践を通して得た経験から振り返りをおこない，より高いパフォーマンスを発揮するために必要な知識及び技能を高める。 ・競技会の企画と運営の学習を通して，スポーツを推進及び発展させる視点から課題を発見し，よりよい解決に向けて主体的に取り組む力を育てる。	○	○	○	○
	9				○	○	○	○
第2学期	10		○各種目に応じた応用的練習 ○競技会の実施・運営 ○2学期の取組への探究活動【個人】		○	○	○	○
	11				○	○	○	○
	12				○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	2 4	○講習会（メディカルケア） ○各種目の競技レベル向上に向けての取組 ○競技会への探究活動 ○1年間の各種目の取組への探究活動【個人・チーム】 ○次年度へ向けて競技力向上を図るための練習方法の計画 ○研究発表(各種目)	・明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。生涯に通じてスポーツの振興発展に寄与する資質や能力を育てる。	○	○	○	○
	2				○	○	○	○
	3				○	○	○	○

4 その他

--